

家庭ごみ・事業系ごみ組成分析調査及び計量調査（令和 3 年度）の結果について

1 調査の目的

本調査は、家庭・事業者から排出されるごみの組成と分別及び排出状況、家庭ごみのうち、可燃ごみと不燃ごみの 1 人 1 日あたりのごみ排出量（以下「排出原単位」という）を把握し、廃棄物施策検討の基礎資料を得ることを目的に実施した。

2 家庭ごみ組成分析調査及び計量調査

(1) 調査対象

【組成分析】区内の 8 地区（下馬 6 丁目、池尻 2 丁目、松原 1 丁目、駒沢 4 丁目、新町 1 丁目、船橋 2・4 丁目、千歳台 2・3 丁目、八幡山 3 丁目）から、住居形態（一戸建て、アパート等混在、マンション）ごとに集積所を抽出した上で、可燃ごみ、不燃ごみを収集し、調査した。

サンプル重量：可燃ごみ 1,463.94kg、不燃ごみ 582.86kg

【計 量】区内の 3 地区(池尻、駒沢、船橋)から、可燃ごみ 603 世帯、不燃ごみ 291 世帯に協力を得て調査を行い、世帯人数ごとに排出原単位を算定した。

(2) 調査日程

【組成分析】令和 3 年 5 月 10 日（月）～ 19 日（水）中の 8 日間

【計 量】令和 3 年 4 月 19 日（月）～ 28 日（水）中の 8 日間

(3) 調査結果の概要

【組成分析】

・組成上位 3 種類

可燃ごみ	生ごみ	紙類(資源化可能)	容器包装プラスチック
	30.0%	13.2%	13.2%
不燃ごみ	金属	小型家電 (拠点回収対象外)	陶磁器
	24.9%	17.4%	13.3%

・ごみに含まれる資源の割合（回収ルートのある資源化可能物）

可燃ごみ	19.7%	主な内訳		
		紙類	布類	プラスチック※1
		13.2%	5.1%	0.6%
不燃ごみ	9.2%	主な内訳		
		びん類	小型家電※2	缶類
		3.8%	2.6%	1.1%

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止した。

※ 1 白色発泡トレイなど、公共施設等で拠点回収を行っているプラスチック類

※ 2 小型家電回収ボックスにて回収を行っている小型家電 1 2 品目

【計 量】排出原単位（1人1日あたりの排出量）

	可燃ごみ	不燃ごみ	合 計
令和元年度	310.6g	33.6g	344.2g
令和3年度	342.7g	28.0g	370.7g

3 事業系ごみ組成分析調査

(1) 調査対象

区で収集を行っている事業系ごみを対象とする。

事業系ごみの排出が多い駅周辺の地区を選定し、集積所から事業系有料ごみ券が貼付されている可燃ごみ・不燃ごみをサンプルとして収集した。

調査対象地区：三軒茶屋、下北沢、二子玉川、用賀、成城学園前・喜多見、千歳烏山

サンプル重量：可燃ごみ 2,116.74kg、不燃ごみ 207.42kg

サンプル数：合計 295 事業所（医療業 48、飲食店 45、事務所 43、その他店舗 105 など）

※前回調査までは、事業所を個別に訪問し、協力を得た事業所からサンプルを収集していたが、サンプルが限定的となっていたため、より実態に近いサンプルを収集するため、今回の方法に変更した。

(2) 調査日程

令和3年5月20日（木）～6月2日（水）中の10日間

(3) 調査結果の概要

・組成上位3種類

可燃ごみ	紙類(資源化可能)	生ごみ	木・草類
	24.5%	19.5%	10.0%
不燃ごみ	蛍光管	金属	缶類
	21.1%	19.2%	11.0%

・ごみに含まれる資源の割合（回収ルートのある資源化可能物）

可燃ごみ	25.0%	主な内訳		
		紙類	ペットボトル	びん類
		24.5%	0.5%	0.1%
不燃ごみ	14.9%	主な内訳		
		缶類	びん類	紙類
		11.0%	2.6%	0.4%

世田谷区家庭ごみ・事業系ごみ
組成分析調査及び計量調査報告書
(令和3年度版)

令和3年8月

世 田 谷 区

目次

第1部 家庭ごみ組成分析調査及び計量調査報告書	- 1 -
第1章 調査目的と概要	- 3 -
1 調査目的	- 3 -
2 家庭ごみ組成分析調査概要	- 3 -
(1) 調査対象	- 3 -
(2) 調査日程	- 4 -
(3) 調査方法	- 4 -
(4) 分類	- 4 -
(5) 留意事項	- 6 -
3 家庭ごみ計量調査概要	- 7 -
(1) 調査方法	- 7 -
(2) 調査対象地区と日程	- 7 -
(3) 調査対象世帯数	- 8 -
第2章 家庭ごみ組成分析調査結果	- 9 -
1 全体	- 9 -
(1) 可燃ごみ	- 9 -
(2) 不燃ごみ	- 11 -
2 過去の調査結果との比較	- 13 -
(1) 可燃ごみ	- 13 -
(2) 不燃ごみ	- 15 -
第3章 家庭ごみ計量調査結果	- 17 -
(1) 可燃ごみ	- 17 -
(2) 不燃ごみ	- 18 -
(3) 排出原単位の推計	- 18 -
第2部 事業系ごみ組成分析調査報告書	- 19 -
第1章 調査目的と概要	- 21 -
1 調査目的	- 21 -
2 調査概要	- 21 -
(1) 調査対象	- 21 -
(2) 調査日程	- 23 -
(3) 調査方法	- 23 -
(4) 分類	- 23 -
(5) 留意事項	- 25 -

第2章 事業系ごみ組成分析調査結果	- 26 -
1 全体	- 26 -
(1) 可燃ごみ	- 26 -
(2) 不燃ごみ	- 28 -
2 可燃ごみの属性別調査結果	- 30 -
(1) 調査対象地区別	- 30 -
(2) 業種別	- 33 -
第3部 家庭ごみ・事業系ごみの品目別区収集ごみ量推計	- 37 -
1 排出原単位の推計	- 39 -
(1) 属性別人口推計	- 39 -
(2) 排出原単位の推計	- 40 -
2 家庭ごみ・事業系ごみ別の区収集ごみ量の推計	- 41 -
(1) 世田谷区の区収集ごみ量	- 41 -
(2) 家庭ごみ量の推計	- 41 -
3 家庭ごみ・事業系ごみの品目別区収集ごみ量の推計	- 42 -
(1) 家庭可燃ごみ	- 42 -
(2) 事業系可燃ごみ	- 43 -
(3) 区収集不燃ごみ	- 44 -
(4) 家庭ごみ・事業系ごみ別の品目別区収集ごみ量	- 45 -

第 1 部 家庭ごみ組成分析調査及び計量調査報告書

第1章 調査目的と概要

1 調査目的

本調査は、①家庭から排出されるごみの組成と分別状況、②1人1日あたりのごみ・資源排出量（以下「排出原単位」という）を把握し、廃棄物施策検討の基礎資料を得ることを目的に実施したものである。

2 家庭ごみ組成分析調査概要

(1)調査対象

本調査は、家庭ごみを対象とすることから、事業系ごみが可能な限り混入しないような集積所を選定したうえで、事業系有料ごみ処理券の貼ってあるものや明らかに事業系ごみと判断されるものは調査対象から除外して実施した。

調査対象とした集積所を表1.2-1に示す。区内8調査地区から、住居形態（一戸建て、アパート等混在、マンション）ごとに集積所を抽出し、可燃ごみ及び不燃ごみを調査した。

調査実施に伴い収集したサンプルの重量は、可燃ごみ量が1,463.94kg、不燃ごみが582.86kgである。

表 1.2-1 調査対象

		単位：kg			
		一戸建て	アパート等混在	マンション	合計
可燃ごみ	下馬6丁目	44.95	31.40	91.11	167.46
	池尻2丁目	82.00	70.57	82.35	234.92
	松原1丁目	116.67	76.70	94.71	288.08
	駒沢4丁目	38.09	41.99	117.36	197.44
	新町1丁目	51.65	76.25	112.35	240.25
	船橋2・4丁目	24.07	29.49	31.03	84.59
	千歳台2・3丁目	44.33	45.45	46.54	136.32
	八幡山3丁目	41.16	35.28	38.44	114.88
	合計	442.92	407.13	613.89	1,463.94
不燃ごみ	下馬6丁目	34.99	25.75	30.24	90.98
	池尻2丁目	22.15	17.96	23.95	64.06
	松原1丁目	23.21	5.72	32.94	61.87
	駒沢4丁目	11.25	39.75	42.09	93.09
	新町1丁目	9.00	15.95	13.18	38.13
	船橋2・4丁目	29.25	28.94	15.31	73.5
	千歳台2・3丁目	16.38	16.68	33.77	66.83
	八幡山3丁目	27.27	35.08	32.05	94.4
	合計	173.5	185.83	223.53	582.86

(2)調査日程

調査日程を表 1.2-2 に示す。日程は収集作業を行った日である。

表 1.2-2 調査日程

日程	可燃ごみ	不燃ごみ
5月10日(月)	下馬6丁目	千歳台2・3丁目
5月11日(火)	松原1丁目	池尻2丁目
5月12日(水)	船橋2・4丁目	駒沢4丁目
		新町1丁目
5月13日(木)	池尻2丁目	松原1丁目
5月14日(金)	駒沢4丁目	—
5月17日(月)	八幡山3丁目	船橋2・4丁目
5月18日(火)	新町1丁目	下馬6丁目
		八幡山3丁目
5月19日(水)	千歳台2・3丁目	—

(3)調査方法

調査対象集積所から可燃ごみ・不燃ごみをサンプルとして収集し、袋の形状と重さ、品目ごとの重量等を測定した。また、分析は湿ベース（ごみが水分を含んだ状態での重量）で行った。

(4)分類

分類を表 1.2-3 に示す。大分類6種類、中分類25種類、小分類80種類とした。

大分類の可燃系資源と不燃系資源は、資源分別回収、集団回収、拠点回収により現在資源化するルートがある品目である。蛍光管、小型家電（拠点回収対象外）等一部の不燃ごみについては、資源化ルートがあるが、分別回収ではなく収集後に区が選別作業を行っているため、不燃系資源には含めない。

表 1.2-3(1) 分類表その1

大分類	中分類	小分類	備考 (代表的な例)
可燃系資源	紙類	新聞 (きれいなもの)	読んだだけでごみに出されたもの
		折込広告	新聞の折込広告
		雑誌・本	
		段ボール	
		紙パック	内側が白く、500ミリ以上で「紙パック」マークがついたもの
		包装紙	紙だけでできているもので区の資源分別回収の雑誌類で出せるもの
		紙袋	
		箱類	
		OA用紙	
	その他紙類 (リサイクル可)	区の資源分別回収の雑誌類で出せるもの	
	布類	衣類、洋服、布製テーブルクロス、ハンカチ、タオル	
	ペットボトル	飲料や調味料のペットボトルで「PET」マークがついたもの	
	プラスチック	ペットボトルキャップ	キャップが単体で排出されたもの
		白色発泡トレイ	鮮魚、精肉の食品販売用のトレイで白色のもの
色・柄付き発泡トレイ		鮮魚、精肉の食品販売用のトレイで白色以外のもの	
食品用透明プラスチック容器		生鮮食品・加工食品が入っていた無色透明なプラスチック製の容器	
不燃系資源	缶類	アルミ缶 (飲食用)	ペットフード含む
		スチール缶 (飲食用)	ペットフード含む
	びん類	リターナブルびん	一升びん、ビールびんなどの繰り返し使えるびん
		ワンウェイびん (無色)	飲料水、調味料、びん詰、栄養ドリンクなどの飲料用のびん
		ワンウェイびん (茶色)	
		ワンウェイびん (その他)	
小型家電 (拠点回収対象)	携帯電話、デジタルカメラ、ACアダプター、コードなどの拠点回収対象品目		
可燃物	生ごみ	直接廃棄	利用されずにそのまま捨てられた食品
		食べ残し	
		調理くず	
	紙類	新聞 (汚れたもの)	読む以外の用途に使用したもの、汚れのあるもの
		紙パック (アルミ付)	内側が銀色の紙パック
		容器包装紙類 (リサイクル不可)	四角い紙パック、ビニールコートなどの加工紙、においや汚れの付いているもの
		シュレッド紙	
		その他紙類 (リサイクル不可)	区の資源分別回収の雑誌類で出せないもの (写真、感熱紙、カーボン紙)
	木・草類	庭木・落ち葉・草、生花	
	容器包装プラスチック	ペットボトル以外のボトル	シャンプーや洗剤などのボトル
		洗剤等詰め替え容器	シャンプーや洗剤などの詰め替え用のパウチ
		レジ袋	
		発泡スチロール	
		カップ・パック	弁当ガラ、果物・たまごなどのパック、乳酸飲料、ヨーグルト、プリンなどのカップ、豆腐容器
		フィルム	透明なお菓子の袋、野菜の袋、ペットボトルの外装
		アルミ蒸着	スナック菓子の袋、カップ麺のフタ、錠剤の包装など銀色のもの
		チューブ	マヨネーズ、歯磨き
その他の容器包装プラスチック		緩衝材、ネット、びんのふた	

表 1.2-3(2) 分類表その2

大分類	中分類	小分類	備考（代表的な例）
可燃物	製品プラスチック	シングルユースプラスチック	使い捨てのストロー、スプーン、コップ
		製品プラスチック（軟質）	フィルム状の食品保存容器、市販の袋
		製品プラスチック（硬質）	歯ブラシ、CD、ケースなどプラスチックだけでできているもの
		製品プラスチック（複合品）	プラスチックの玩具、ボールペンなどプラスチック以外の素材との複合品
	ゴム・皮革類	ゴム類	ゴム手袋、自転車ゴム、輪ゴム
		皮革類	革ジャンパー、皮製ハンドバック、革ベルト
その他可燃物	紙おむつ		
	その他可燃物	ティッシュ、たばこの吸殻、化学ぞうきん、ガムテープ、割り箸、木製品	
不燃物	金属	アルミ缶（その他）	空のスプレー缶、空のカセットボンベ、塗料の缶、自動車オイルの缶などのスチール缶
		スチール缶（その他）	空のスプレー缶、塗料の缶、自動車オイルの缶などのアルミ缶
		缶類以外の金属類	なべ、フライパン、アルミホイル、刃物、飲食用以外の缶
	乾電池	筒型乾電池	
		コイン型電池	
	ガラス製品		ガラス製品、割れたびん、汚れたびん
	陶磁器		
	小型家電（拠点回収対象外）		拠点回収対象品目以外の品目
	傘		
	蛍光管		
電球			
その他不燃物			
排出禁止物	二次電池（充電電池）		リチウムイオン電池などの充電式の電池
	その他電池（ボタン電池等）		ボタン型の電池
	水銀体温計		
	水銀血圧計		
	中身の入ったエアゾール缶		
	中身の入ったカセットボンベ		
	中身の入った簡易ガスライター		
	薬品類（農薬・劇薬）		
	注射器・針		
	石油類		
	ペンキ等の塗料		
	バッテリー		
	石		
	土・砂		
ブロック・レンガ			
その他		粗大ごみ	
外袋	プラスチック袋		ごみ袋として使われた透明ごみ袋、半透明ごみ袋
	レジ袋		ごみ袋として使われたレジ袋
	紙袋		ごみ袋として使われた紙袋

(5)留意事項

構成比の合算値は四捨五入の関係上 100%にならないものがある。

3 家庭ごみ計量調査概要

(1)調査方法

調査対象地区の世帯に対して、世帯人数と何日分のごみかを記載するシールを配布した。ごみの排出時間にあわせて調査員を資源・ごみ集積所に配置し、排出されたごみに貼付されたシールの情報を転記し、その場で重量を測定した。

1人世帯の場合は年齢によって排出原単位が異なると考えられるため、30歳未満と30歳以上に分類し、調査を実施した。

各世帯から排出された可燃ごみ・不燃ごみの重量を、世帯人数と日数（何日分のごみか）で除して、世帯ごとの排出原単位を算定した上で、世帯人数別のごみの排出原単位を算定した。

(2)調査対象地区と日程

調査対象地区と日程を表1.3-1に示す。池尻、駒沢、船橋の3地区から各2カ所、合計6カ所の対象地区を選定した。可燃ごみについては、対象地区ごとに調査した。不燃ごみについては、同一町名の対象地区2カ所を一緒に調査した。

表 1.3-1 調査対象地区と日程

日程	調査対象地区	ごみ種
4月19日(月)	船橋①②	不燃ごみ
4月20日(火)	駒沢①	可燃ごみ
4月21日(水)	船橋①	可燃ごみ
4月22日(木)	池尻①	可燃ごみ
4月23日(金)	駒沢②	可燃ごみ
4月26日(月)	池尻②	可燃ごみ
4月27日(火)	池尻①②	不燃ごみ
4月28日(水)	船橋②	可燃ごみ
	駒沢①②	不燃ごみ

(3)調査対象世帯数

調査対象世帯数を表 1.3-2 に示す。調査対象世帯数は、延べ 894 世帯、可燃ごみが 603 世帯、不燃ごみが 291 世帯である。

表 1.3-2 調査対象世帯数

単位：世帯

		池尻	駒沢	船橋	全体
可燃ごみ	1人世帯・30歳未満	20	9	4	33
	1人世帯・30歳以上	38	46	23	107
	2人世帯	66	60	48	174
	3人世帯	44	61	41	146
	4人以上世帯	32	57	54	143
	合計	200	233	170	603
不燃ごみ	1人世帯・30歳未満	3	1	1	5
	1人世帯・30歳以上	11	14	7	32
	2人世帯	36	23	38	97
	3人世帯	19	24	35	78
	4人以上世帯	14	22	43	79
	合計	83	84	124	291

第2章 家庭ごみ組成分析調査結果

1 全体

(1)可燃ごみ

可燃ごみの組成を図 2.1-1 及び表 2.1-1 に示す。

大分類では、可燃系資源が 19.4%、不燃系資源が 0.3%で、資源が合計 19.7%である。その他、可燃物が 77.8%、外袋が 1.3%、不燃物が 1.0%、排出禁止物が 0.2%の順である。

可燃物の中分類では、生ごみが最も多く 30.0%、次いで、その他可燃物が 20.5%、容器包装プラスチックが 13.2%などの順である。生ごみの小分類のうち、直接廃棄が 5.9%、食べ残しが 3.0%で、合計 8.9%が食品ロスである。

可燃系資源の中分類では、紙類が最も多く 13.2%、次いで、布類が 5.1%などの順である。紙類の小分類では、箱類が最も多く 3.2%、次いで、その他紙類（リサイクル可）が 3.1%などの順である。

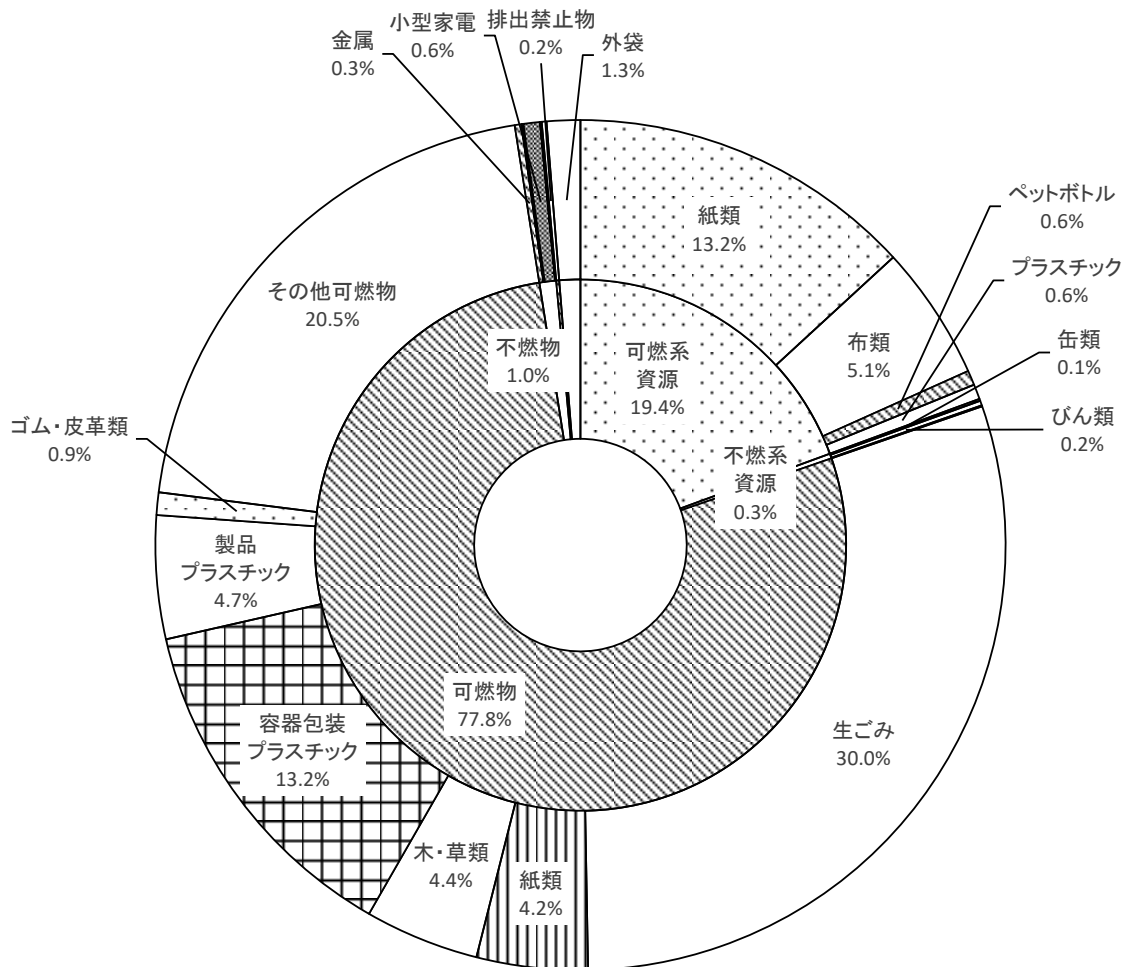


図 2.1-1 可燃ごみの組成分析結果

表 2.1-1 可燃ごみの組成分析結果(詳細)

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
可燃系資源	紙類	新聞 (きれいなもの)	11.01	0.8%
		折込広告	6.86	0.5%
		雑誌・本	33.13	2.3%
		段ボール	14.84	1.0%
		紙パック	9.61	0.7%
		包装紙	2.11	0.1%
		紙袋	9.31	0.6%
		箱類	46.38	3.2%
		OA用紙	14.04	1.0%
		その他紙類 (リサイクル可)	45.40	3.1%
	布類	74.98	5.1%	
	ペットボトル	8.17	0.6%	
	プラスチック	ペットボトルキャップ	1.10	0.1%
		白色発泡トレイ	2.02	0.1%
色・柄付き発泡トレイ		2.61	0.2%	
	食品用透明プラスチック容器	2.58	0.2%	
不燃系資源	缶類	アルミ缶 (飲食用)	0.51	0.0%
		スチール缶 (飲食用)	0.61	0.0%
	びん類	リターナブルびん	0.00	0.0%
		ワンウェイびん(無色)	1.09	0.1%
		ワンウェイびん(茶色)	0.01	0.0%
		ワンウェイびん(その他)	1.55	0.1%
小型家電 (拠点回収対象)	0.55	0.0%		
可燃物	生ごみ	直接廃棄	87.09	5.9%
		食べ残し	43.67	3.0%
		調理くず	308.55	21.1%
	紙類	新聞 (汚れたもの)	10.52	0.7%
		紙パック (アルミ付)	5.25	0.4%
		容器包装紙類 (リサイクル不可)	17.11	1.2%
		シュレッド紙	3.40	0.2%
		その他紙類 (リサイクル不可)	25.53	1.7%
	木・草類	63.71	4.4%	
	容器包装プラスチック	ペットボトル以外のボトル	22.23	1.5%
		洗剤等詰め替え容器	2.66	0.2%
		レジ袋	9.71	0.7%
		発泡スチロール	1.60	0.1%
		カップ・パック	69.97	4.8%
		フィルム	60.57	4.1%
		アルミ蒸着	17.48	1.2%
		チューブ	3.33	0.2%
		その他の容器包装プラスチック	5.00	0.3%
		製品プラスチック	1.09	0.1%
	製品プラスチック	製品プラスチック (軟質)	37.43	2.6%
		製品プラスチック (硬質)	24.41	1.7%
		製品プラスチック (複合品)	5.71	0.4%
	ゴム・皮革類	ゴム類	6.59	0.5%
		皮革類	5.93	0.4%
	その他可燃物	紙おむつ	76.43	5.2%
		その他可燃物	224.30	15.3%
	不燃物	金属	アルミ缶 (その他)	0.03
スチール缶 (その他)			0.09	0.0%
缶類以外の金属類			3.57	0.2%
乾電池		筒型乾電池	0.26	0.0%
		コイン型電池	0.00	0.0%
ガラス製品		0.57	0.0%	
陶磁器		0.33	0.0%	
小型家電 (拠点回収対象外)		9.16	0.6%	
傘		0.16	0.0%	
蛍光管		0.00	0.0%	
電球		0.03	0.0%	
その他不燃物		0.69	0.0%	

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
排出禁止物		二次電池	0.00	0.0%
		その他電池	0.00	0.0%
		水銀体温計	0.00	0.0%
		水銀血圧計	0.00	0.0%
		中身の入ったエアゾール缶	0.00	0.0%
		中身の入ったカセットボンベ	0.00	0.0%
		中身の入った簡易ガスライター	0.00	0.0%
		薬品類 (農薬・劇薬)	0.00	0.0%
		注射器・針	0.00	0.0%
		石油類	0.00	0.0%
		ペンキ等の塗料	0.00	0.0%
		バッテリー	0.00	0.0%
		石	0.37	0.0%
		土・砂	2.29	0.2%
		ブロック・レンガ	0.00	0.0%
		その他	0.00	0.0%
外袋		プラスチック袋	11.02	0.8%
		レジ袋	7.09	0.5%
		紙袋	0.54	0.0%
合計			1,463.94	100.0%

大分類	中分類	重量 (kg)	割合
可燃系資源	紙類	192.69	13.2%
	布類	74.98	5.1%
	ペットボトル	8.17	0.6%
	プラスチック	8.31	0.6%
不燃系資源	缶類	1.12	0.1%
	びん類	2.65	0.2%
	小型家電	0.55	0.0%
可燃物	生ごみ	439.31	30.0%
	紙類	61.81	4.2%
	木・草類	63.71	4.4%
	容器包装プラスチック	192.55	13.2%
	製品プラスチック	68.64	4.7%
	ゴム・皮革類	12.52	0.9%
	その他可燃物	300.73	20.5%
	金属	3.69	0.3%
不燃物	乾電池	0.26	0.0%
	ガラス製品	0.57	0.0%
	陶磁器	0.33	0.0%
	小型家電	9.16	0.6%
	傘	0.16	0.0%
	蛍光管	0.00	0.0%
	電球	0.03	0.0%
	その他不燃物	0.69	0.0%
排出禁止物	2.66	0.2%	
外袋	18.65	1.3%	

大分類	重量 (kg)	割合
可燃系資源	284.15	19.4%
不燃系資源	4.32	0.3%
可燃物	1,139.27	77.8%
不燃物	14.89	1.0%
排出禁止物	2.66	0.2%
外袋	18.65	1.3%

(2)不燃ごみ

不燃ごみの組成を図 2.1-2 及び表 2.1-2 に示す。

大分類では、不燃系資源が 7.5%、可燃系資源が 1.7%で、資源が合計 9.2%である。その他、不燃物が 76.4%、可燃物が 11.6%、排出禁止物が 2.0%、外袋が 0.8%の順である。

不燃物の中分類では、金属が最も多く 24.9%、次いで、小型家電が 17.4%、陶磁器が 13.3%、ガラス製品が 9.0%などの順である。

可燃物の中分類では、製品プラスチックが最も多く 7.7%で、容器包装プラスチック 1.4%と合わせると、9.1%がプラスチックである。

不燃系資源の中分類では、びん類が最も多く 3.8%である。

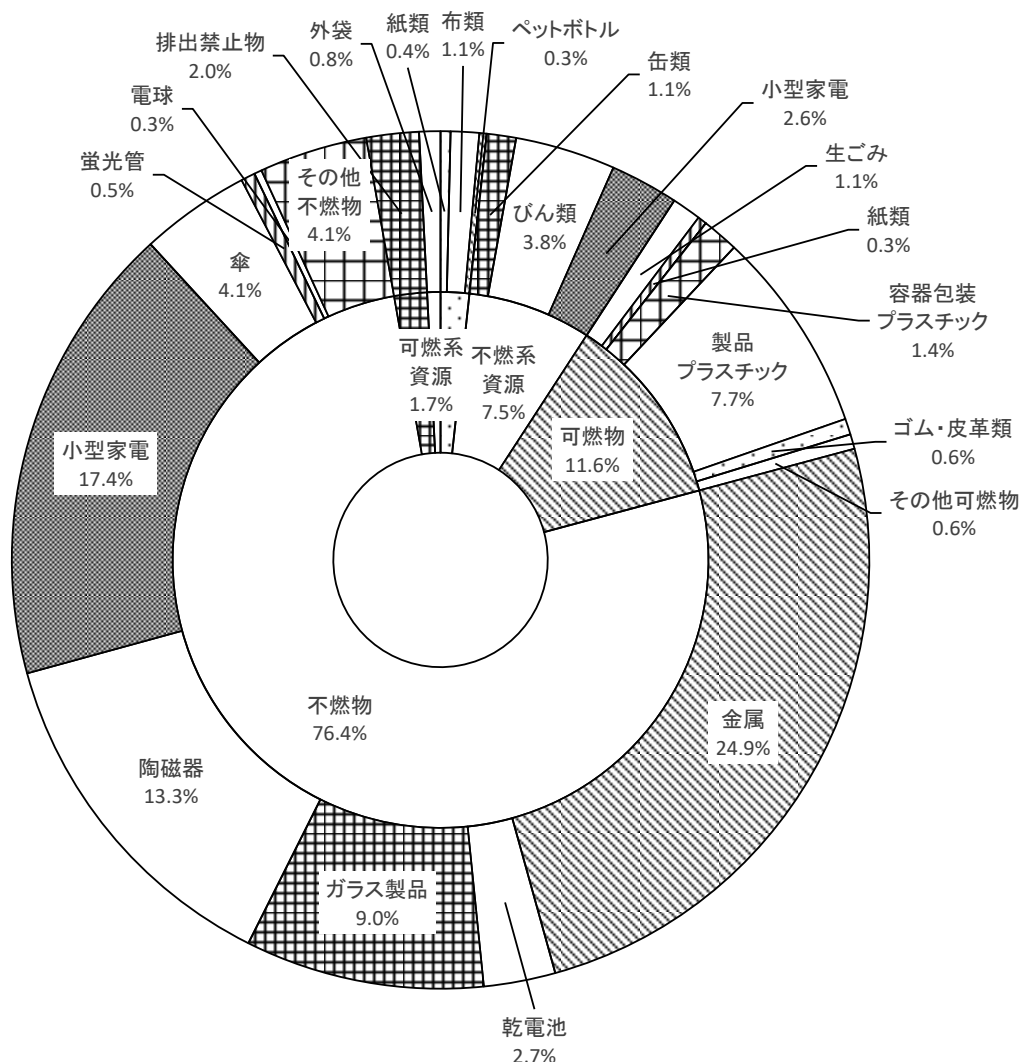


図 2.1-2 不燃ごみの組成分析結果

表 2.1-2 不燃ごみの組成分析結果(詳細)

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合	
可燃系資源	紙類	新聞(きれいなもの)	0.02	0.0%	
		折込広告	0.01	0.0%	
		雑誌・本	0.07	0.0%	
		段ボール	0.63	0.1%	
		紙バック	0.24	0.0%	
		包装紙	0.01	0.0%	
		紙袋	0.18	0.0%	
		箱類	0.80	0.1%	
		OA用紙	0.03	0.0%	
		その他紙類(リサイクル可)	0.19	0.0%	
	布類	6.26	1.1%		
	ペットボトル	1.58	0.3%		
	プラスチック	ペットボトルキャップ	0.03	0.0%	
		白色発泡トレイ 色・柄付き発泡トレイ 食品用透明プラスチック容器	0.00 0.00 0.00	0.0% 0.0% 0.0%	
不燃系資源	缶類	アルミ缶(飲食用)	1.59	0.3%	
		スチール缶(飲食用)	4.83	0.8%	
	びん類	リターナブルびん	0.00	0.0%	
		ワンウェイびん(無色)	14.40	2.5%	
		ワンウェイびん(茶色)	3.76	0.6%	
		ワンウェイびん(その他)	3.88	0.7%	
小型家電(拠点回収対象)	15.00	2.6%			
可燃物	生ごみ	直接廃棄	2.29	0.4%	
		食べ残し	3.79	0.7%	
		調理くず	0.34	0.1%	
	紙類	新聞(汚れたもの)	0.90	0.2%	
		紙バック(アルミ付)	0.01	0.0%	
		容器包装紙類(リサイクル不可)	0.04	0.0%	
		シュレッド紙	0.00	0.0%	
		その他紙類(リサイクル不可)	1.02	0.2%	
	木・草類	木・草類	0.04	0.0%	
		容器包装プラスチック	ペットボトル以外のボトル	5.40	0.9%
			洗剤等詰め替え容器	0.00	0.0%
			レジ袋	0.75	0.1%
			発泡スチロール	0.01	0.0%
			カップ・パック	0.13	0.0%
			フィルム	0.29	0.0%
			アルミ蒸着	0.32	0.1%
			チューブ	0.23	0.0%
			その他の容器包装プラスチック	0.90	0.2%
			製品プラスチック	シングルユースプラスチック	0.03
	製品プラスチック(軟質)	1.45		0.2%	
	製品プラスチック(硬質)	14.38		2.5%	
	製品プラスチック(複合品)	28.81		4.9%	
	ゴム・皮革類	ゴム類	1.75	0.3%	
		皮革類	1.74	0.3%	
	その他可燃物	紙おむつ	0.00	0.0%	
	その他可燃物	その他可燃物	3.25	0.6%	
	不燃物	金属	アルミ缶(その他)	4.36	0.7%
			スチール缶(その他)	21.22	3.6%
			缶類以外の金属類	119.33	20.5%
乾電池		筒型乾電池	15.68	2.7%	
		コイン型電池	0.08	0.0%	
ガラス製品		52.50	9.0%		
陶磁器		77.77	13.3%		
小型家電(拠点回収対象外)		101.62	17.4%		
傘		24.16	4.1%		
蛍光管		3.10	0.5%		
電球		1.68	0.3%		
その他不燃物		23.81	4.1%		

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
排出禁止物	排出禁止物	二次電池	0.00	0.0%
		その他電池	0.03	0.0%
		水銀体温計	0.00	0.0%
		水銀血圧計	0.00	0.0%
		中身の入ったエアゾール缶	5.64	1.0%
		中身の入ったカセットボンベ	0.00	0.0%
		中身の入った簡易ガスライター	0.66	0.1%
		薬品類(農薬・劇薬)	0.00	0.0%
		注射器・針	0.00	0.0%
		石油類	0.00	0.0%
		ペンキ等の塗料	2.39	0.4%
		バッテリー	0.00	0.0%
		石	0.00	0.0%
		土・砂	0.00	0.0%
ブロック・レンガ	0.00	0.0%		
その他	2.79	0.5%		
外袋	外袋	プラスチック袋	1.46	0.3%
		レジ袋	2.55	0.4%
		紙袋	0.65	0.1%
合計			582.86	100.0%

大分類	中分類	重量 (kg)	割合
可燃系資源	紙類	2.18	0.4%
	布類	6.26	1.1%
	ペットボトル	1.58	0.3%
	プラスチック	0.03	0.0%
不燃系資源	缶類	6.42	1.1%
	びん類	22.04	3.8%
	小型家電	15.00	2.6%
可燃物	生ごみ	6.42	1.1%
	紙類	1.97	0.3%
	木・草類	0.04	0.0%
	容器包装プラスチック	8.03	1.4%
	製品プラスチック	44.67	7.7%
	ゴム・皮革類	3.49	0.6%
	その他可燃物	3.25	0.6%
	金属	144.91	24.9%
	乾電池	15.76	2.7%
	ガラス製品	52.50	9.0%
不燃物	陶磁器	77.77	13.3%
	小型家電	101.62	17.4%
	傘	24.16	4.1%
	蛍光管	3.10	0.5%
	電球	1.68	0.3%
その他不燃物	23.81	4.1%	
排出禁止物	11.51	2.0%	
外袋	4.66	0.8%	

大分類	重量 (kg)	割合
可燃系資源	10.05	1.7%
不燃系資源	43.46	7.5%
可燃物	67.87	11.6%
不燃物	445.31	76.4%
排出禁止物	11.51	2.0%
外袋	4.66	0.8%

2 過去の調査結果との比較

(1)可燃ごみ

可燃ごみの過去の調査結果との比較を、表 2.2-1 及び図 2.2-1 に示す。

可燃系資源は、平成 23 年度には 27.1%であったが、平成 24 年度以降は 18.9～23.6%で推移している。平成 29 年度までは 20%台であったが、平成 30 年度には 10%台となり、今回調査でも 19.4%である。

可燃物は、平成 23 年度には 70.5%であったが、平成 24 年度以降は 74.6～79.1%で推移している。可燃物のうち、生ごみは、平成 24 年度以降は減少傾向であったが、今回調査では前回調査比で増加している。容器包装プラスチックと製品プラスチックは増加傾向がみられる。

不燃物は、0.2～1.0%で推移している。令和元年度までは 0%台であったが、今回調査は 1.0%である。

排出禁止物は、0.0～1.5%で推移している。

表 2.2-1 可燃ごみの過去の調査結果との比較

単位:%

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3	
可燃系資源	27.1	22.2	23.6	22.9	20.8	21.6	21.3	18.9	21.9	19.4	
不燃系資源	0.3	0.4	0.4	0.2	0.4	0.4	0.2	0.3	0.3	0.3	
可燃物	生ごみ	29.0	37.3	35.2	36.1	35.7	32.7	31.1	31.6	28.6	30.0
	紙類	2.8	2.2	2.2	2.4	1.7	1.9	2.2	3.2	2.4	4.2
	木・草類	10.2	8.1	5.2	4.3	7.8	9.8	4.3	3.8	4.9	4.4
	容器包装プラスチック	9.9	10.9	11.2	11.3	10.8	10.7	14.2	14.0	12.6	13.2
	製品プラスチック	2.0	1.9	2.7	2.8	2.5	3.0	2.9	2.5	3.2	4.7
	ゴム・皮革類	2.0	1.9	0.9	0.7	1.3	1.1	0.4	1.1	1.2	0.9
	その他可燃物	14.6	13.8	17.2	17.5	17.1	17.2	20.4	22.9	23.5	20.5
小計	70.5	76.1	74.6	75.1	76.9	76.4	75.5	79.1	76.4	77.8	
不燃物	0.9	0.3	0.5	0.7	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	1.0	
排出禁止物	0.2	0.2	0.1	0.2	0.9	0.3	1.5	0.0	0.0	0.2	
外袋	1.1	0.7	0.8	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.3	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

※令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止した。

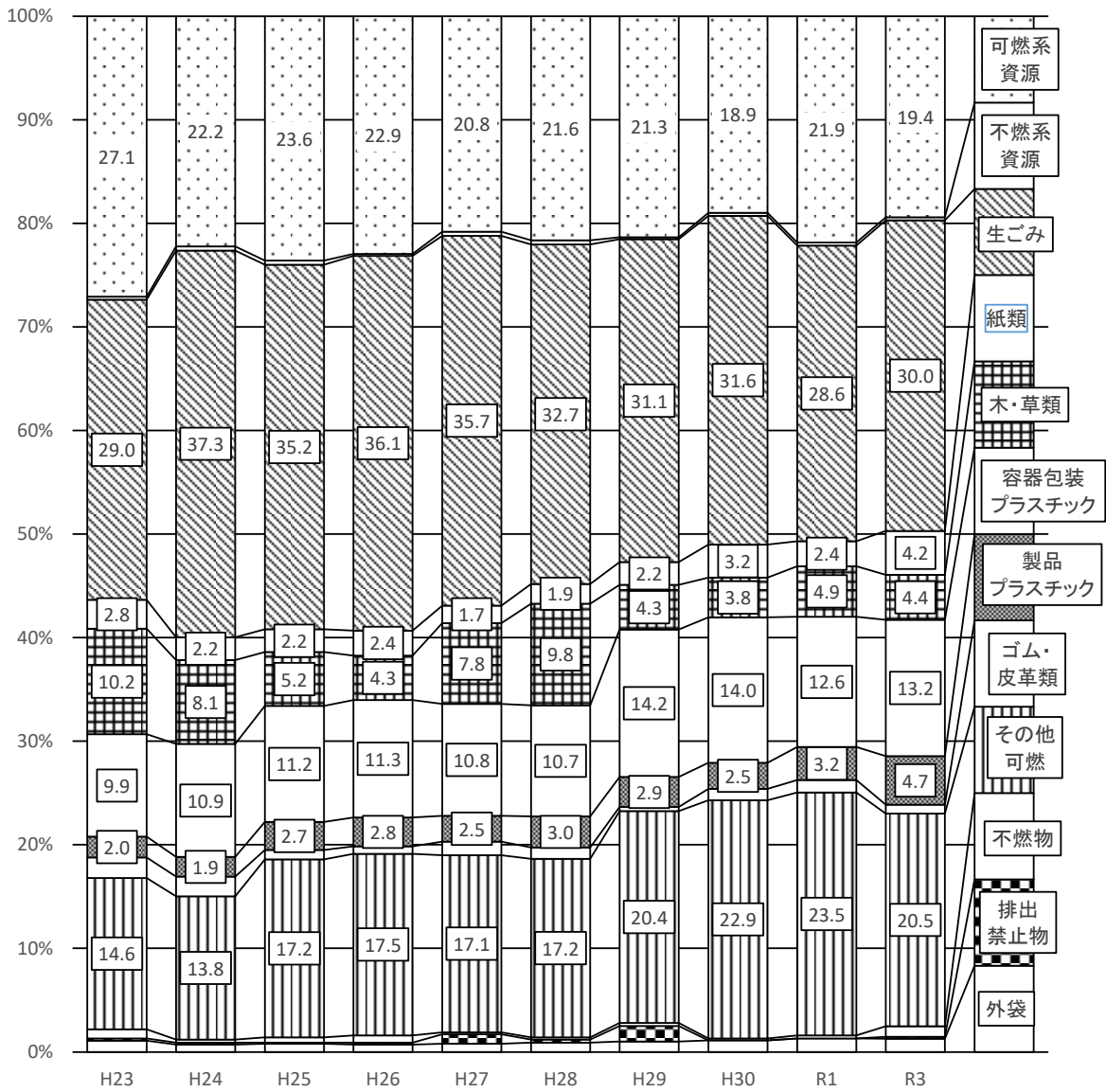


図 2.2-1 可燃ごみの過去の調査結果との比較

(2)不燃ごみ

不燃ごみの過去の調査結果との比較を、表 2.2-2 及び図 2.2-2 に示す。

小型家電については、過去の調査では、小型家電（拠点回収対象）と小型家電（拠点回収対象外）の分類はしていなかった。そのため、過去の調査結果の小型家電全体の割合に、本調査の小型家電全体に占める小型家電（拠点回収対象）の割合 13% を乗じて、小型家電（拠点回収対象）の割合を推計し、不燃系資源とした。

不燃系資源は、8.3～14.0%で推移している。平成 30 年度以降は 10%未滿で推移している。

可燃物は、5.3～14.4%で推移している。平成 30 年度には 5.3%であったが、令和元年度は 9.0%、今回調査は 11.6%と増加傾向がみられる。

不燃物は、68.6～83.7%で推移している。平成 30 年度には 83.7%であったが、令和元年度は 79.2%、今回調査は 76.4%と減少傾向がみられる。

排出禁止物は、0.3～5.7%で推移している。平成 30 年度には 0.3%であったが、令和元年度は 0.4%、今回調査は 2.0%と増加傾向がみられる。

表 2.2-2 不燃ごみの過去の調査結果との比較

		単位:%									
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3
可燃系資源		3.0	0.8	0.5	0.3	0.5	0.6	1.2	0.4	0.8	1.7
不燃系資源		11.7	12.9	13.3	14.0	8.3	11.3	11.6	9.6	9.5	7.5
可燃物		11.3	14.4	9.3	8.9	8.5	13.5	7.5	5.3	9.0	11.6
不燃物	金属類	18.4	22.2	23.8	22.8	27.9	25.9	20.4	24.4	21.9	24.9
	電池	1.4	1.9	3.3	1.6	2.5	2.7	4.5	3.2	2.7	2.7
	ガラス製品	5.2	7.5	8.2	5.1	4.2	7.8	9.8	6.8	10.0	9.0
	陶磁器	13.5	16.7	16.4	20.8	22.9	16.0	17.3	29.7	19.5	13.3
	小型家電	17.7	12.4	14.8	15.4	14.3	11.7	13.6	10.4	14.3	17.4
	傘	2.6	2.7	3.9	3.2	2.0	4.3	4.5	3.2	3.4	4.1
	蛍光管	0.8	1.4	1.5	0.8	0.7	0.9	1.2	0.6	1.5	0.5
	電球	0.4	0.6	0.5	0.3	0.5	0.4	0.5	0.4	0.3	0.3
	その他不燃物	11.6	3.2	1.9	3.1	1.4	2.4	1.3	5.0	5.6	4.1
小計		71.6	68.6	74.3	73.1	76.4	72.1	73.2	83.7	79.2	76.4
排出禁止物		1.5	2.4	1.2	2.0	5.7	1.5	5.7	0.3	0.4	2.0
外袋		0.9	0.7	1.2	0.7	0.7	0.9	0.9	0.6	1.0	0.8
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止した。

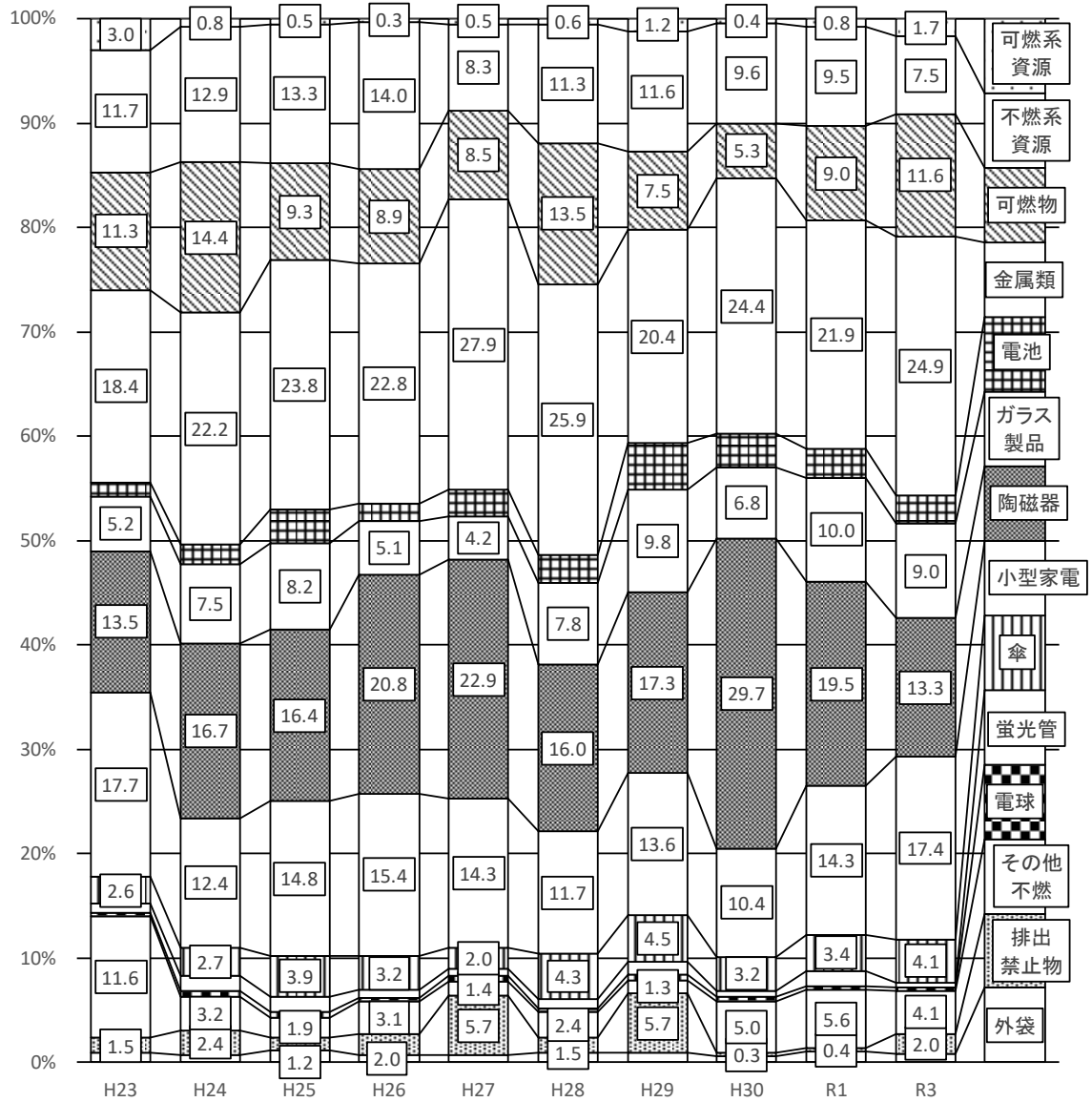


図 2.2-2 不燃ごみの過去の調査結果との比較

第3章 家庭ごみ計量調査結果

(1)可燃ごみ

可燃ごみの排出原単位を、図 3.1-1 に示す。

世帯人数別で、1人世帯・30歳未満が 373.9 g/人日、1人世帯・30歳以上が 459.4 g/人日、2人世帯が 362.1 g/人日、3人世帯が 307.3 g/人日、4人以上世帯が 262.7 g/人日である。

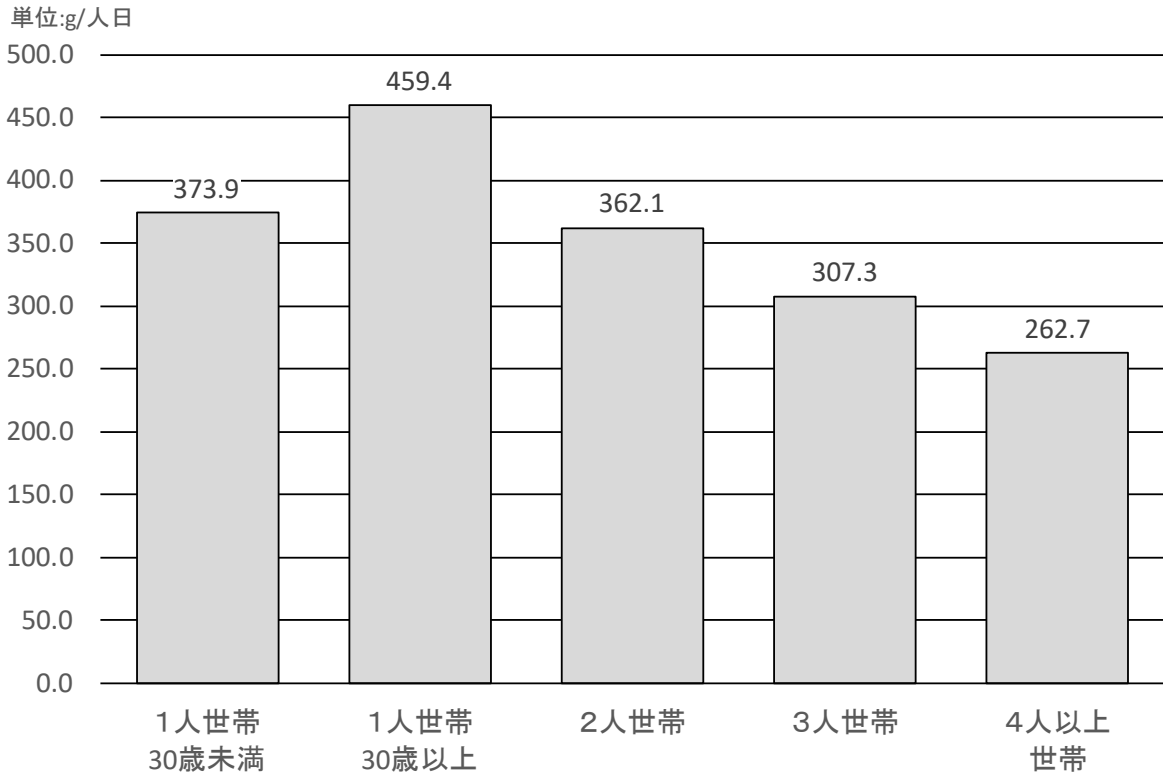


図 3.1-1 可燃ごみの排出原単位

(2)不燃ごみ

不燃ごみの排出原単位を、図 3.1-2 に示す。

世帯人数別で、1人世帯・30歳未満が 25.1g/人日、1人世帯・30歳以上が 42.7g/人日、2人世帯が 31.3g/人日、3人世帯が 24.6g/人日、4人以上世帯が 17.8g/人日である。

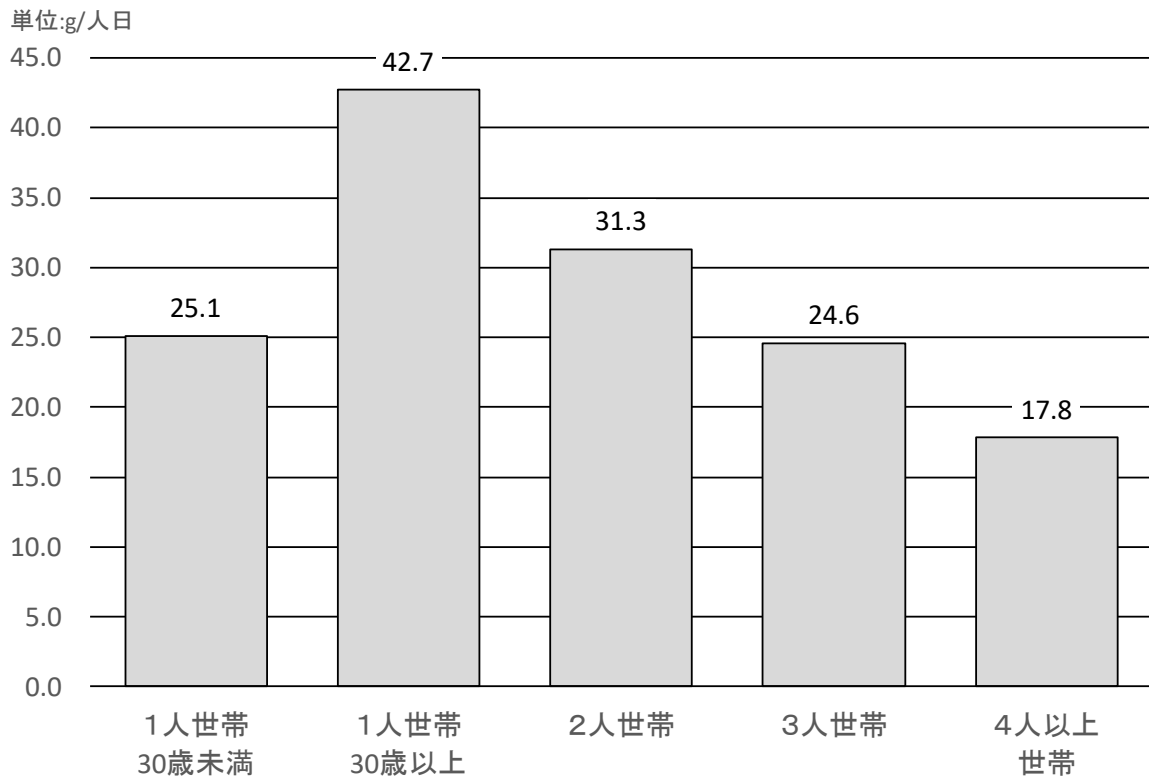


図 3.1-2 不燃ごみの排出原単位

(3)排出原単位の推計

(1)(2)の結果をもとに、世田谷区の世帯人数別の世帯数と人口を加味した区全体の排出原単位を、第3部 1「排出原単位の推計」(P39-40)にて推計している。

第 2 部 事業系ごみ組成分析調査報告書

第1章 調査目的と概要

1 調査目的

本調査は、事業者から排出されるごみの組成と分別状況を把握し、廃棄物施策検討の基礎資料を得ることを目的に実施したものである。

2 調査概要

(1)調査対象

本調査は、区で収集している事業系ごみ^{※注}を対象とすることから、事業系ごみが排出されそうな地区を選定し、事業系有料ごみ処理券の貼ってあるものや明らかに事業系ごみと判断されるものを調査対象とした。

調査対象地区は駅周辺の事業所が多い地区を選定した。収集したごみを排出事業者ごとに分析し、集計した。十分なサンプル量を得られた可燃ごみについては調査対象地区別及び表 1.2-1 に示す業種別の集計も行った。

表 1.2-1 業種分類

食料品店	
その他店舗	アパレル業、花屋、美容院、理容室、自転車販売店、薬局、雑貨店など
飲食店	
事務所	保険会社、士師業、公証役場、不動産業など
医療業	医院・クリニック、歯科医院、整体院、鍼灸整骨院、マッサージなど
教育業	幼稚園、学習塾など
その他	駐車場、多目的スペース、スタジオ、造園業、劇場、警察署、訪問介護など

※注 世田谷区では、家庭廃棄物の収集に支障が生じない範囲において、小規模事業者の一般廃棄物及び産業廃棄物を有料で収集している。

なお、世田谷区が一般廃棄物と併せて処理する産業廃棄物とは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年 12 月 25 日法律第 137 号）第 2 条第 4 項及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（昭和 46 年政令第 300 号）第 2 条に掲げる産業廃棄物のうち、廃プラスチック類（原則としてプラスチック製造業及びプラスチック加工業から排出されるものを除く。）、紙くず、木くず、金属くず（廃油等が付着しているものを除く。）、ガラスくず及び陶磁器くずの 6 品目である。

表 1.2-2 及び表 1.2-3 に、対象事業所数とサンプル量を示す。対象事業所数は、可燃ごみが 295 事業所、不燃ごみが 20 事業所、サンプル量は、可燃ごみ量が 2,116.74kg、不燃ごみが 207.42kg である。

表 1.2-2 可燃ごみの対象事業所数とサンプル量

単位：kg

		食料品 店	その他 店舗	飲食店	事務所	医療業	教育業	その他	合計
事業所数	三軒茶屋	1	7	6	5	6		2	27
	下北沢	3	49	22	10	14	3	10	111
	二子玉川	3	16	6	1	5	2	2	35
	用賀	3	14	4	12	11	1	6	51
	成城学園前・喜多見	1	11	3	8	6	3	3	35
	千歳烏山	5	8	4	7	6	2	4	36
	合計	16	105	45	43	48	11	27	295
サンプル量 (kg)	三軒茶屋	41.98	34.78	72.01	15.27	28.70	0.00	47.29	240.03
	下北沢	45.33	238.18	157.86	57.76	68.97	4.86	46.75	619.71
	二子玉川	20.75	142.65	82.43	8.75	45.63	3.38	6.70	310.29
	用賀	25.05	109.63	57.49	56.25	71.35	15.56	19.22	354.55
	成城学園前・喜多見	4.27	130.44	57.49	63.36	57.97	17.34	11.81	342.68
	千歳烏山	47.29	57.01	23.21	32.93	45.22	13.14	30.68	249.48
	合計	184.67	712.69	450.49	234.32	317.84	54.28	162.45	2,116.74

表 1.2-3 不燃ごみの対象事業所数とサンプル量

単位：kg

		食料品 店	その他 店舗	飲食店	事務所	医療業	教育業	その他	合計
事業所数	三軒茶屋	1	1	2		1		1	6
	下北沢		2	5				3	10
	千歳烏山		3					1	4
	合計	1	6	7	0	1	0	5	20
サンプル量 (kg)	三軒茶屋	17.80	2.40	8.42	0.00	2.67	0.00	30.44	61.73
	下北沢	0.00	2.37	58.19	0.00	0.00	0.00	12.94	73.50
	千歳烏山	0.00	70.47	0.00	0.00	0.00	0.00	1.72	72.19
	合計	17.80	75.24	66.61	0.00	2.67	0.00	45.10	207.42

(2)調査日程

調査日程を表 1.2-4 に示す。日程は収集作業を行った日である。

表 1.2-4 調査日程

日程	可燃ごみ	不燃ごみ
5月20日(木)	千歳烏山	
5月21日(金)		千歳烏山
5月22日(土)		下北沢
5月24日(月)	下北沢	
5月25日(火)	三軒茶屋	
5月26日(水)	二子玉川	
5月27日(木)	下北沢	
5月29日(土)	用賀	
6月1日(火)	成城学園前・喜多見	
6月2日(水)		三軒茶屋

(3)調査方法

調査対象集積所から可燃ごみ・不燃ごみをサンプルとして収集し、袋の容量と貼付しているシールの容量、品目ごとの重量等を測定した。また、分析は湿ベース（ごみが水分を含んだ状態での重量）で行った。

(4)分類

分類を表 1.2-5 に示す。大分類 6 種類、中分類 23 種類、小分類 79 種類とした。

大分類の可燃系資源と不燃系資源は、資源分別回収、集団回収、拠点回収により現在資源化するルートがある品目である。蛍光管等の一部の不燃ごみについては、資源化ルートがあるが、分別回収ではなく収集後に区が選別作業を行っているため、不燃系資源には含めない。

家庭ごみでは、小型家電を拠点回収対象と拠点回収対象外に分け、拠点回収対象を不燃系資源として集計しているが、事業系ごみは拠点回収の対象ではないため、事業系では小型家電としてまとめて分類している。

家庭ごみでは、布類、ペットボトルキャップ等の 4 品目を可燃系資源として集計しているが、事業系ごみは拠点回収の対象ではないため、事業系では大分類の可燃物として集計している。一方、家庭ごみでは大分類の可燃物として集計しているシュレッド紙は、事業系ごみでは事業系古紙回収システムの対象であるため、大分類の可燃系資源として集計している。

表 1.2-5(1) 分類表その1

大分類	中分類	小分類	備考（代表的な例）	
可燃系資源	紙類	新聞（きれいなもの）	読んだだけでごみに出されたもの	
		折込広告	新聞の折込広告	
		雑誌・本		
		段ボール		
		紙パック	内側が白く、500ミリ以上で「紙パック」マークがついたもの	
		包装紙	紙だけでできているもので区の資源分別回収の雑誌類で出せるもの	
		紙袋		
		箱類		
		OA用紙		
		シュレッド紙		
		その他紙類（リサイクル可）	区の資源分別回収の雑誌類で出せるもの	
ペットボトル	飲料や調味料のペットボトルで「PET」マークがついたもの			
不燃系資源	缶類	アルミ缶（飲食用）	ペットフード含む	
		スチール缶（飲食用）	ペットフード含む	
	びん類	リターナブルびん	一升びん、ビールびんなどの繰り返し使えるびん	
		ワンウェイびん（無色）	飲料水、調味料、びん詰、栄養ドリンクなどの飲料用のびん	
		ワンウェイびん（茶色）		
ワンウェイびん（その他）				
可燃物	生ごみ	直接廃棄	利用されずにそのまま捨てられた食品	
		食べ残し		
		調理くず		
	紙類	新聞（汚れたもの）	読む以外の用途に使用したもの、汚れのあるもの	
		紙パック（アルミ付）	内側が銀色の紙パック	
		容器包装紙類（リサイクル不可）	四角い紙パック、ビニールコートなどの加工紙、においや汚れの付いているもの	
		その他紙類（リサイクル不可）	区の資源分別回収の雑誌類で出せないもの（写真、感熱紙、カーボン紙）	
	布類	衣類、洋服、布製テーブルクロス、ハンカチ、タオル		
	木・草類	庭木・落ち葉・草、生花		
	容器包装プラスチック	容器包装プラスチック	ペットボトルキャップ	キャップが単体で排出されたもの
			白色発泡トレイ	鮮魚、精肉の食品販売用のトレイで白色のもの
			色・柄付き発泡トレイ	鮮魚、精肉の食品販売用のトレイで白色以外のもの
			食品用透明プラスチック容器	生鮮食品・加工食品が入っていた無色透明なプラスチック製の容器
			ペットボトル以外のボトル	シャンプーや洗剤などのボトル
			洗剤等詰め替え容器	シャンプーや洗剤などの詰め替え用のパウチ
			レジ袋	
			発泡スチロール	
			カップ・パック	弁当ガラ、果物・たまごなどのパック、乳酸飲料、ヨーグルト、プリンなどのカップ、豆腐容器
			フィルム	透明なお菓子の袋、野菜の袋、ペットボトルの外装
			アルミ蒸着	スナック菓子の袋、カップ麺のフタ、錠剤の包装など銀色のもの
チューブ			マヨネーズ、歯磨き	
その他容器包装のプラスチック			緩衝材、ネット、びんのふた	

表 1.2-5(1) 分類表その2

大分類	中分類	小分類	備考 (代表的な例)
可燃物	製品プラスチック	シングルユースプラスチック	使い捨てのストロー、スプーン、コップ
		製品プラスチック (軟質)	フィルム状の食品保存容器、市販の袋
		製品プラスチック (硬質)	歯ブラシ、CD、ケースなどプラスチックだけでできているもの
		製品プラスチック (複合品)	プラスチックの玩具、ボールペンなどプラスチック以外の素材との複合品
	ゴム・皮革類	ゴム類	ゴム手袋、自転車ゴム、輪ゴム
		皮革類	革ジャンパー、皮製ハンドバック、革ベルト
その他可燃物	紙おむつ		
	その他可燃物	ティッシュ、たばこの吸殻、化学ぞうきん、ガムテープ、割り箸、木製品	
不燃物	金属	アルミ缶 (その他)	空のスプレー缶、空のカセットボンベ、塗料の缶、自動車オイルの缶などのスチール缶
		スチール缶 (その他)	空のスプレー缶、塗料の缶、自動車オイルの缶などのアルミ缶
		缶類以外の金属類	なべ、フライパン、アルミホイル、刃物、飲食用以外の缶
	乾電池	筒型乾電池	
		コイン型電池	
	ガラス製品		ガラス製品、割れたびん、汚れたびん
	陶磁器		
	小型家電		
	傘		
	蛍光管		
電球			
その他不燃物			
排出禁止物	二次電池 (充電電池)		リチウムイオン電池などの充電式の電池
	その他電池 (ボタン電池等)		ボタン型の電池
	水銀体温計		
	水銀血圧計		
	中身の入ったエアゾール缶		
	中身の入ったカセットボンベ		
	中身の入った簡易ガスライター		
	薬品類 (農薬・劇薬)		
	注射器・針		
	石油類		
	ペンキ等の塗料		
	バッテリー		
	石		
	土・砂		
ブロック・レンガ			
その他		粗大ごみ	
外袋	プラスチック袋		ごみ袋として使われた透明ごみ袋、半透明ごみ袋
	レジ袋		ごみ袋として使われたレジ袋
	紙袋		ごみ袋として使われた紙袋

(5)留意事項

構成比の合算値は四捨五入の関係上 100%にならないものがある。

第2章 事業系ごみ組成分析調査結果

1 全体

(1)可燃ごみ

可燃ごみの組成を図 2.1-1 及び表 2.1-1 に示す。

大分類では、可燃系資源が 24.9%、不燃系資源が 0.1%で、資源が合計 25.0%である。その他、可燃物が 72.2%、不燃物が 1.2%、排出禁止物が 0.9%、外袋が 0.7%の順である。

可燃物の中分類では、生ごみが最も多く 19.5%、次いで、その他可燃物が 17.8%、木・草類が 10.0%などの順である。生ごみの小分類では、直接廃棄が 1.2%、食べ残しが 2.2%で、合計 3.4%が食品ロスである。

可燃系資源の中分類では、紙類が 24.5%、ペットボトルが 0.5%である。紙類の小分類では、シュレッド紙が 6.7%と最も多く、次いで、箱類とその他紙類（リサイクル可）が 4.1%、OA用紙が 3.7%などの順である。

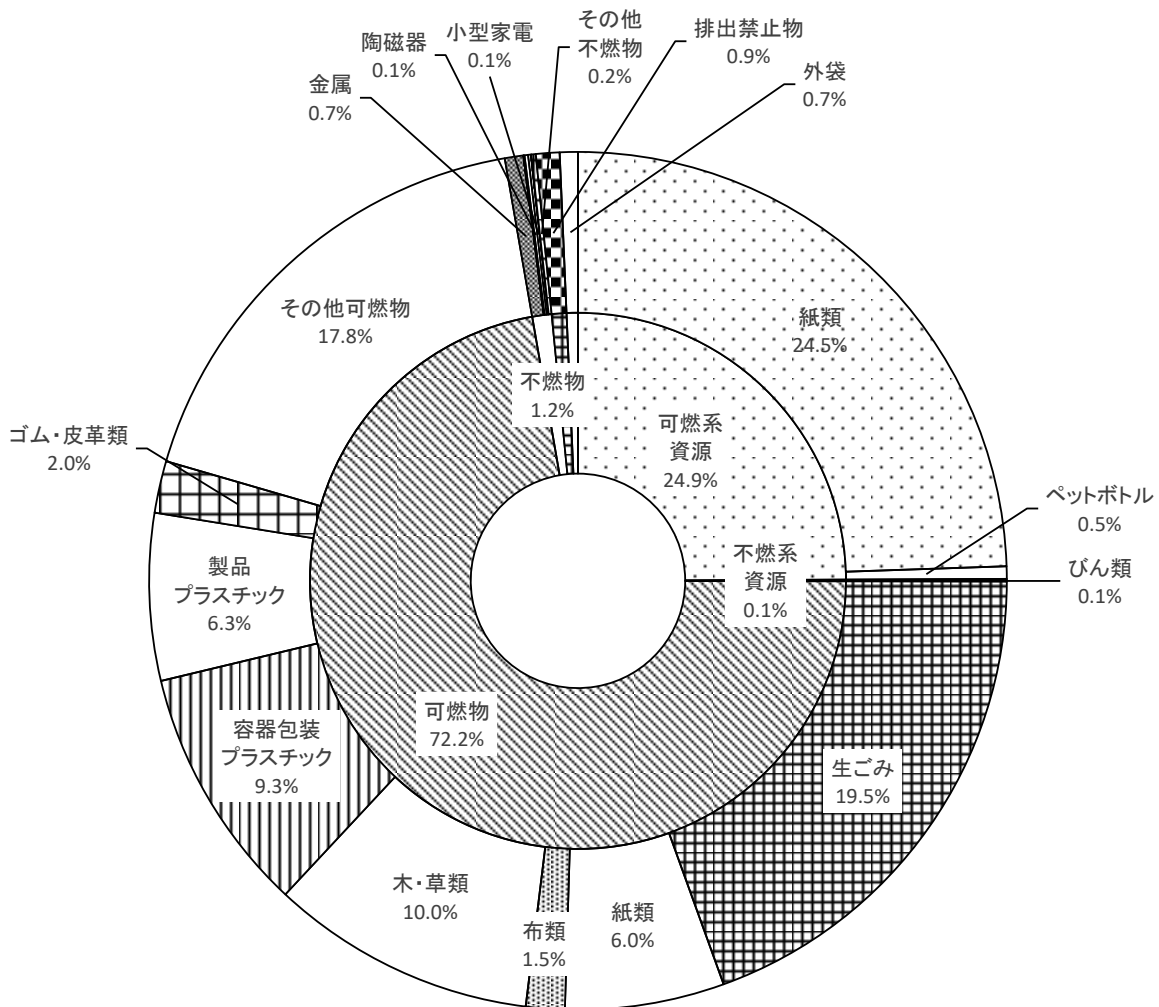


図 2.1-1 可燃ごみの組成分析結果

表 2.1-1 可燃ごみの組成分析結果(詳細)

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
可燃系資源	紙類	新聞(きれいなもの)	4.09	0.2%
		折込広告	2.74	0.1%
		雑誌・本	59.36	2.8%
		段ボール	26.86	1.3%
		紙パック	8.57	0.4%
		包装紙	9.32	0.4%
		紙袋	13.37	0.6%
		箱類	85.88	4.1%
		OA用紙	78.77	3.7%
		シュレッド紙	141.46	6.7%
	その他紙類(リサイクル可)	87.29	4.1%	
	ペットボトル	9.94	0.5%	
不燃系資源	缶類	アルミ缶(飲食用)	0.73	0.0%
		スチール缶(飲食用)	0.30	0.0%
	びん類	リターナブルびん	0.00	0.0%
		ワンウェイびん(無色)	0.93	0.0%
		ワンウェイびん(茶色)	0.22	0.0%
	ワンウェイびん(その他)	0.00	0.0%	
可燃物	生ごみ	直接廃棄	26.34	1.2%
		食べ残し	46.45	2.2%
		調理くず	339.02	16.0%
	紙類	新聞(汚れたもの)	11.84	0.6%
		紙パック(アルミ付)	7.14	0.3%
		容器包装紙類(リサイクル不可)	51.61	2.4%
		その他紙類(リサイクル不可)	56.47	2.7%
		布類	30.88	1.5%
		木・草類	211.83	10.0%
	容器包装プラスチック	ペットボトルキャップ	1.68	0.1%
		白色発泡トレイ	1.07	0.1%
		色・柄付き発泡トレイ	0.52	0.0%
		食品用透明プラスチック容器	1.31	0.1%
		ペットボトル以外のボトル	34.14	1.6%
		洗剤等詰め替え容器	4.43	0.2%
		レジ袋	13.77	0.7%
		発泡スチロール	5.06	0.2%
		カップ・パック	52.14	2.5%
		フィルム	56.18	2.7%
		アルミ蒸着	11.88	0.6%
		チューブ	2.01	0.1%
		その他の容器包装プラスチック	12.60	0.6%
	製品プラスチック	シングルユースプラスチック	2.98	0.1%
		製品プラスチック(軟質)	93.69	4.4%
		製品プラスチック(硬質)	29.01	1.4%
		製品プラスチック(複合品)	7.52	0.4%
	ゴム・皮革類	ゴム類	39.76	1.9%
		皮革類	1.65	0.1%
	その他可燃物	紙おむつ	9.75	0.5%
		その他可燃物	366.33	17.3%
不燃物	金属	アルミ缶(その他)	0.11	0.0%
		スチール缶(その他)	0.09	0.0%
		缶類以外の金属類	14.63	0.7%
	乾電池	筒型乾電池	0.05	0.0%
		コイン型電池	0.00	0.0%
		ガラス製品	0.76	0.0%
		陶磁器	2.92	0.1%
		小型家電	2.39	0.1%
		傘	0.00	0.0%
		蛍光管	0.00	0.0%
		電球	0.05	0.0%
		その他不燃物	3.67	0.2%

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
排出禁止物		二次電池	0.00	0.0%
		その他電池	0.00	0.0%
		水銀体温計	0.00	0.0%
		水銀血圧計	0.00	0.0%
		中身の入ったエアゾール缶	0.38	0.0%
		中身の入ったカセットボンベ	0.00	0.0%
		中身の入った簡易ガスライター	0.03	0.0%
		薬品類(農薬・劇薬)	0.00	0.0%
		注射器・針	0.04	0.0%
		石油類	0.00	0.0%
		ペンキ等の塗料	0.00	0.0%
		バッテリー	0.00	0.0%
		石	0.19	0.0%
		土・砂	15.94	0.8%
外袋		ブロック・レンガ	0.00	0.0%
		その他	2.16	0.1%
		プラスチック袋	14.04	0.7%
		レジ袋	0.00	0.0%
	紙袋	0.40	0.0%	
	合計	2,116.74	100.0%	

大分類	中分類	重量 (kg)	割合	
可燃系資源	紙類	517.71	24.5%	
	ペットボトル	9.94	0.5%	
不燃系資源	缶類	1.03	0.0%	
	びん類	1.15	0.1%	
可燃物	生ごみ	411.81	19.5%	
	紙類	127.06	6.0%	
	布類	30.88	1.5%	
	木・草類	211.83	10.0%	
	容器包装プラスチック	196.79	9.3%	
	製品プラスチック	133.20	6.3%	
	ゴム・皮革類	41.41	2.0%	
	その他可燃物	376.08	17.8%	
	不燃物	金属	14.83	0.7%
		乾電池	0.05	0.0%
ガラス製品		0.76	0.0%	
陶磁器		2.92	0.1%	
小型家電		2.39	0.1%	
傘		0.00	0.0%	
蛍光管		0.00	0.0%	
電球		0.05	0.0%	
その他不燃物		3.67	0.2%	
排出禁止物			18.74	0.9%
外袋		14.44	0.7%	

大分類	重量 (kg)	割合
可燃系資源	527.65	24.9%
不燃系資源	2.18	0.1%
可燃物	1,529.06	72.2%
不燃物	24.67	1.2%
排出禁止物	18.74	0.9%
外袋	14.44	0.7%

(2)不燃ごみ

不燃ごみの組成を図 2.1-2 及び表 2.1-2 に示す。

大分類では、不燃系資源が 13.6%、可燃系資源が 1.3%で、資源が合計 14.9%である。その他、不燃物が 72.4%、排出禁止物が 8.9%、可燃物が 3.4%、外袋が 0.4%の順である。

不燃物の中分類では、蛍光管が最も多く 21.1%、次いで、金属が 19.2%、その他不燃物が 15.4%などの順である。

不燃系資源の中分類では、缶類が 11.0%、びん類が 2.6%である。

排出禁止物は、ブロック・レンガが 5.6%、その他（石膏）が 3.2%である。

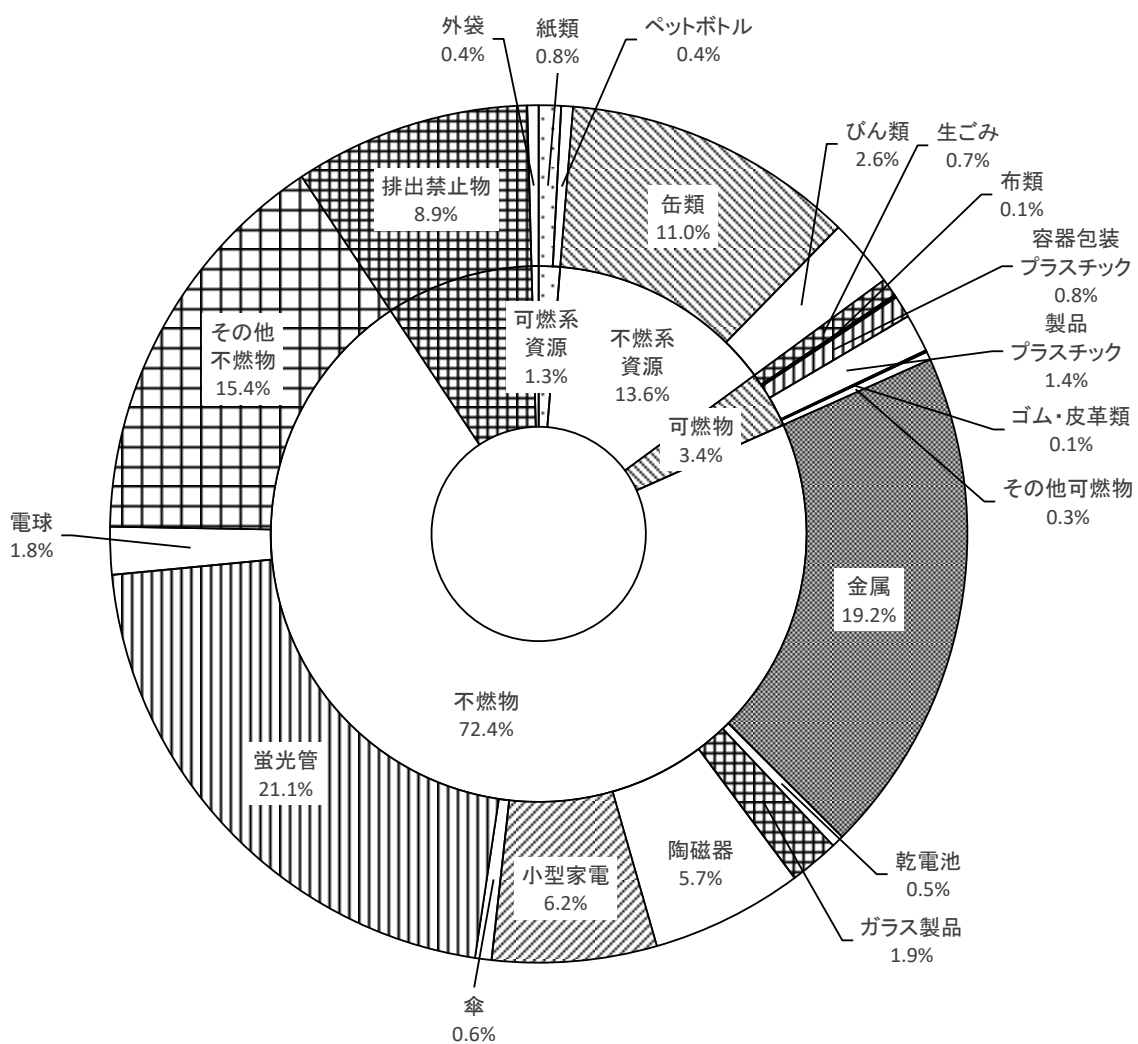


図 2.1-2 不燃ごみの組成分析結果

表 2.1-2 不燃ごみの組成分析結果(詳細)

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
可燃系資源	紙類	新聞 (きれいなもの)	0.00	0.0%
		折込広告	0.00	0.0%
		雑誌・本	0.00	0.0%
		段ボール	0.91	0.4%
		紙パック	0.00	0.0%
		包装紙	0.01	0.0%
		紙袋	0.63	0.3%
		箱類	0.14	0.1%
		OA用紙	0.02	0.0%
		シュレッド紙	0.00	0.0%
		その他紙類 (リサイクル可)	0.03	0.0%
		ペットボトル	0.92	0.4%
		不燃系資源	缶類	アルミ缶 (飲食用)
スチール缶 (飲食用)	20.11			9.7%
びん類	リターナブルびん		0.23	0.1%
	ワンウェイびん(無色)		2.73	1.3%
	ワンウェイびん(茶色)		1.66	0.8%
ワンウェイびん(その他)	0.76	0.4%		
可燃物	生ごみ	直接廃棄	0.00	0.0%
		食べ残し	0.15	0.1%
		調理くず	1.25	0.6%
	紙類	新聞 (汚れたもの)	0.00	0.0%
		紙パック (アルミ付)	0.05	0.0%
		容器包装紙類 (リサイクル不可)	0.00	0.0%
		その他紙類 (リサイクル不可)	0.04	0.0%
	布類	0.14	0.1%	
	木・草類	0.01	0.0%	
	容器包装プラスチック	ペットボトルキャップ	0.02	0.0%
		白色発泡トレイ	0.01	0.0%
		色・柄付き発泡トレイ	0.00	0.0%
		食品用透明プラスチック容器	0.00	0.0%
ペットボトル以外のボトル		0.13	0.1%	
洗剤等詰め替え容器		0.00	0.0%	
レジ袋		0.15	0.1%	
発泡スチロール		0.00	0.0%	
カップ・パック		0.06	0.0%	
フィルム		0.19	0.1%	
アルミ蒸着		0.98	0.5%	
チューブ		0.00	0.0%	
その他の容器包装プラスチック		0.16	0.1%	
製品プラスチック	シングルユースプラスチック	0.01	0.0%	
	製品プラスチック (軟質)	0.95	0.5%	
	製品プラスチック (硬質)	1.15	0.6%	
	製品プラスチック (複合品)	0.86	0.4%	
ゴム・皮革類	ゴム類	0.07	0.0%	
	皮革類	0.06	0.0%	
	紙おむつ	0.00	0.0%	
	その他可燃物	0.65	0.3%	
不燃物	金属	アルミ缶 (その他)	0.24	0.1%
		スチール缶 (その他)	19.39	9.3%
		缶類以外の金属類	20.10	9.7%
	乾電池	筒型乾電池	0.96	0.5%
		コイン型電池	0.01	0.0%
	ガラス製品	3.87	1.9%	
	陶磁器	11.90	5.7%	
	小型家電	12.86	6.2%	
	傘	1.29	0.6%	
	蛍光管	43.77	21.1%	
	電球	3.72	1.8%	
	その他不燃物	31.96	15.4%	

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
排出禁止物		二次電池	0.00	0.0%
		その他電池	0.00	0.0%
		水銀体温計	0.00	0.0%
		水銀血圧計	0.00	0.0%
		中身の入ったエアゾール缶	0.18	0.1%
		中身の入ったカセットボンベ	0.00	0.0%
		中身の入った簡易ガスライター	0.00	0.0%
		薬品類 (農薬・劇薬)	0.00	0.0%
		注射器・針	0.00	0.0%
		石油類	0.00	0.0%
		ペンキ等の塗料	0.00	0.0%
		バッテリー	0.00	0.0%
		石	0.00	0.0%
		土・砂	0.00	0.0%
		ブロック・レンガ	11.58	5.6%
		その他	6.68	3.2%
		外袋	プラスチック袋	0.84
レジ袋	0.01		0.0%	
紙袋	0.04		0.0%	
合計			207.42	100.0%

大分類	中分類	重量 (kg)	割合
可燃系資源	紙類	1.74	0.8%
可燃系資源	ペットボトル	0.92	0.4%
不燃系資源	缶類	22.89	11.0%
不燃系資源	びん類	5.38	2.6%
可燃物	生ごみ	1.40	0.7%
	紙類	0.09	0.0%
	布類	0.14	0.1%
	木・草類	0.01	0.0%
	容器包装プラスチック	1.70	0.8%
	製品プラスチック	2.97	1.4%
	ゴム・皮革類	0.13	0.1%
不燃物	その他可燃物	0.65	0.3%
	金属	39.73	19.2%
	乾電池	0.97	0.5%
	ガラス製品	3.87	1.9%
	陶磁器	11.90	5.7%
	小型家電	12.86	6.2%
	傘	1.29	0.6%
	蛍光管	43.77	21.1%
	電球	3.72	1.8%
	その他不燃物	31.96	15.4%
排出禁止物		18.44	8.9%
外袋		0.89	0.4%

大分類	重量 (kg)	割合
可燃系資源	2.66	1.3%
不燃系資源	28.27	13.6%
可燃物	7.09	3.4%
不燃物	150.07	72.4%
排出禁止物	18.44	8.9%
外袋	0.89	0.4%

2 可燃ごみの属性別調査結果

(1) 調査対象地区別

可燃ごみの調査対象地区別の組成を図 2.2-1 及び表 2.2-1・2 に示す。

調査対象地区別の可燃系資源の割合は、用賀が最も高く 29.0%、千歳烏山が 27.8%、成城学園前・喜多見が 27.5%などの順である。

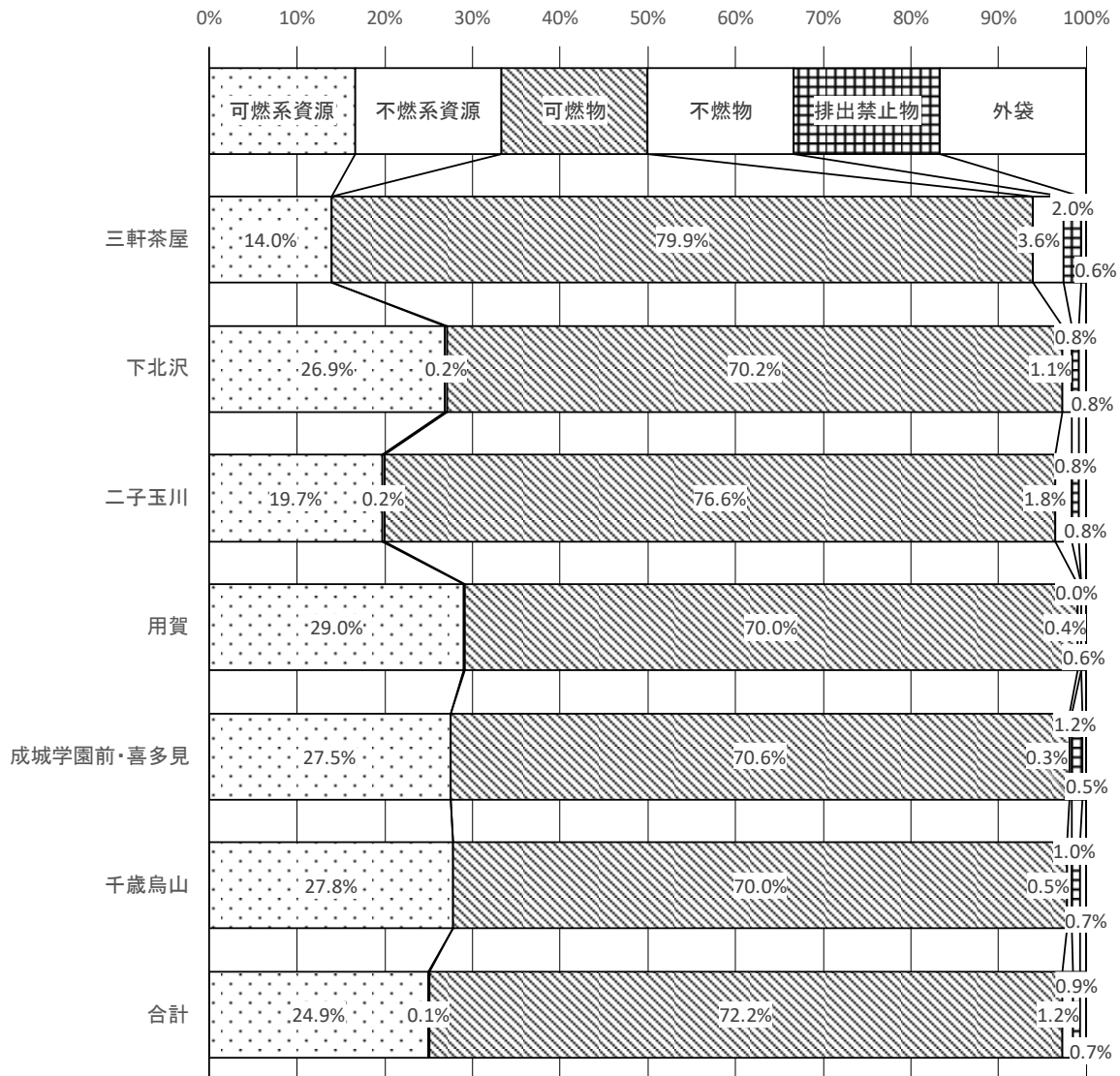


図 2.2-1 可燃ごみの調査対象地区別の組成分析結果

表 2.2-1 可燃ごみの調査対象地区別の組成分析結果(詳細・重量)

単位:kg

		三軒 茶屋	下北沢	二子 玉川	用賀	成城学 園前・ 喜多見	千歳 烏山	合計
可燃系 資源	紙類	31.02	161.61	60.84	102.14	93.48	68.62	517.71
	ペットボトル	2.47	5.00	0.38	0.76	0.60	0.73	9.94
不燃系 資源	缶類	0.06	0.72	0.16	0.04	0.02	0.03	1.03
	びん類	0.00	0.59	0.49	0.07	0.00	0.00	1.15
可燃物	生ごみ	69.91	116.73	53.64	62.82	53.38	55.33	411.81
	紙類	10.09	50.22	17.84	17.14	23.26	8.51	127.06
	布類	0.26	17.41	8.59	1.47	1.72	1.43	30.88
	木・草類	38.84	1.23	43.92	46.52	80.13	1.19	211.83
	容器包装プラスチック	19.66	81.52	18.95	32.16	18.35	26.15	196.79
	製品プラスチック	11.65	44.34	24.74	24.40	16.18	11.89	133.20
	ゴム・皮革類	2.82	5.33	17.99	6.60	5.91	2.76	41.41
	その他可燃物	38.52	118.21	51.90	57.07	42.90	67.48	376.08
不燃物	金属	7.26	4.60	1.89	0.68	0.12	0.28	14.83
	乾電池	0.00	0.03	0.00	0.02	0.00	0.00	0.05
	ガラス製品	0.00	0.64	0.00	0.12	0.00	0.00	0.76
	陶磁器	0.94	0.34	1.59	0.05	0.00	0.00	2.92
	小型家電	0.00	0.51	1.65	0.12	0.06	0.05	2.39
	傘	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	蛍光管	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	電球	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05
	その他不燃物	0.36	0.57	0.60	0.28	0.96	0.90	3.67
排出禁止物		4.74	4.88	2.60	0.03	3.99	2.50	18.74
外袋		1.43	5.18	2.52	2.06	1.62	1.63	14.44
可燃系資源		33.49	166.61	61.22	102.90	94.08	69.35	527.65
不燃系資源		0.06	1.31	0.65	0.11	0.02	0.03	2.18
可燃物		191.75	434.99	237.57	248.18	241.83	174.74	1,529.06
不燃物		8.56	6.74	5.73	1.27	1.14	1.23	24.67
排出禁止物		4.74	4.88	2.60	0.03	3.99	2.50	18.74
外袋		1.43	5.18	2.52	2.06	1.62	1.63	14.44
合計		240.03	619.71	310.29	354.55	342.68	249.48	2,116.74

表 2.2-2 可燃ごみの調査対象地区別の組成分析結果(詳細・割合)

		三軒 茶屋	下北沢	二子 玉川	用賀	成城学 園前・ 喜多見	千歳 烏山	合計
可燃系 資源	紙類	12.9%	26.1%	19.6%	28.8%	27.3%	27.5%	24.5%
	ペットボトル	1.0%	0.8%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.5%
不燃系 資源	缶類	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	びん類	0.0%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
可燃物	生ごみ	29.1%	18.8%	17.3%	17.7%	15.6%	22.2%	19.5%
	紙類	4.2%	8.1%	5.7%	4.8%	6.8%	3.4%	6.0%
	布類	0.1%	2.8%	2.8%	0.4%	0.5%	0.6%	1.5%
	木・草類	16.2%	0.2%	14.2%	13.1%	23.4%	0.5%	10.0%
	容器包装プラスチック	8.2%	13.2%	6.1%	9.1%	5.4%	10.5%	9.3%
	製品プラスチック	4.9%	7.2%	8.0%	6.9%	4.7%	4.8%	6.3%
	ゴム・皮革類	1.2%	0.9%	5.8%	1.9%	1.7%	1.1%	2.0%
	その他可燃物	16.0%	19.1%	16.7%	16.1%	12.5%	27.0%	17.8%
不燃物	金属	3.0%	0.7%	0.6%	0.2%	0.0%	0.1%	0.7%
	乾電池	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	ガラス製品	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	陶磁器	0.4%	0.1%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
	小型家電	0.0%	0.1%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
	傘	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	蛍光管	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	電球	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他不燃物	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.3%	0.4%	0.2%
排出禁止物		2.0%	0.8%	0.8%	0.0%	1.2%	1.0%	0.9%
外袋		0.6%	0.8%	0.8%	0.6%	0.5%	0.7%	0.7%
可燃系資源		14.0%	26.9%	19.7%	29.0%	27.5%	27.8%	24.9%
不燃系資源		0.0%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
可燃物		79.9%	70.2%	76.6%	70.0%	70.6%	70.0%	72.2%
不燃物		3.6%	1.1%	1.8%	0.4%	0.3%	0.5%	1.2%
排出禁止物		2.0%	0.8%	0.8%	0.0%	1.2%	1.0%	0.9%
外袋		0.6%	0.8%	0.8%	0.6%	0.5%	0.7%	0.7%

(2)業種別

可燃ごみの業種別の組成を図 2.2-2 及び表 2.2-3・4 に示す。

業種別の可燃系資源の割合は、事務所が最も高く 52.8%、教育業が 34.5%、医療業が 30.6%、その他店舗が 30.3%などの順である。

生ごみは、食料品店が 57.9%、飲食店が 55.0%と他の業種に比べて多い。

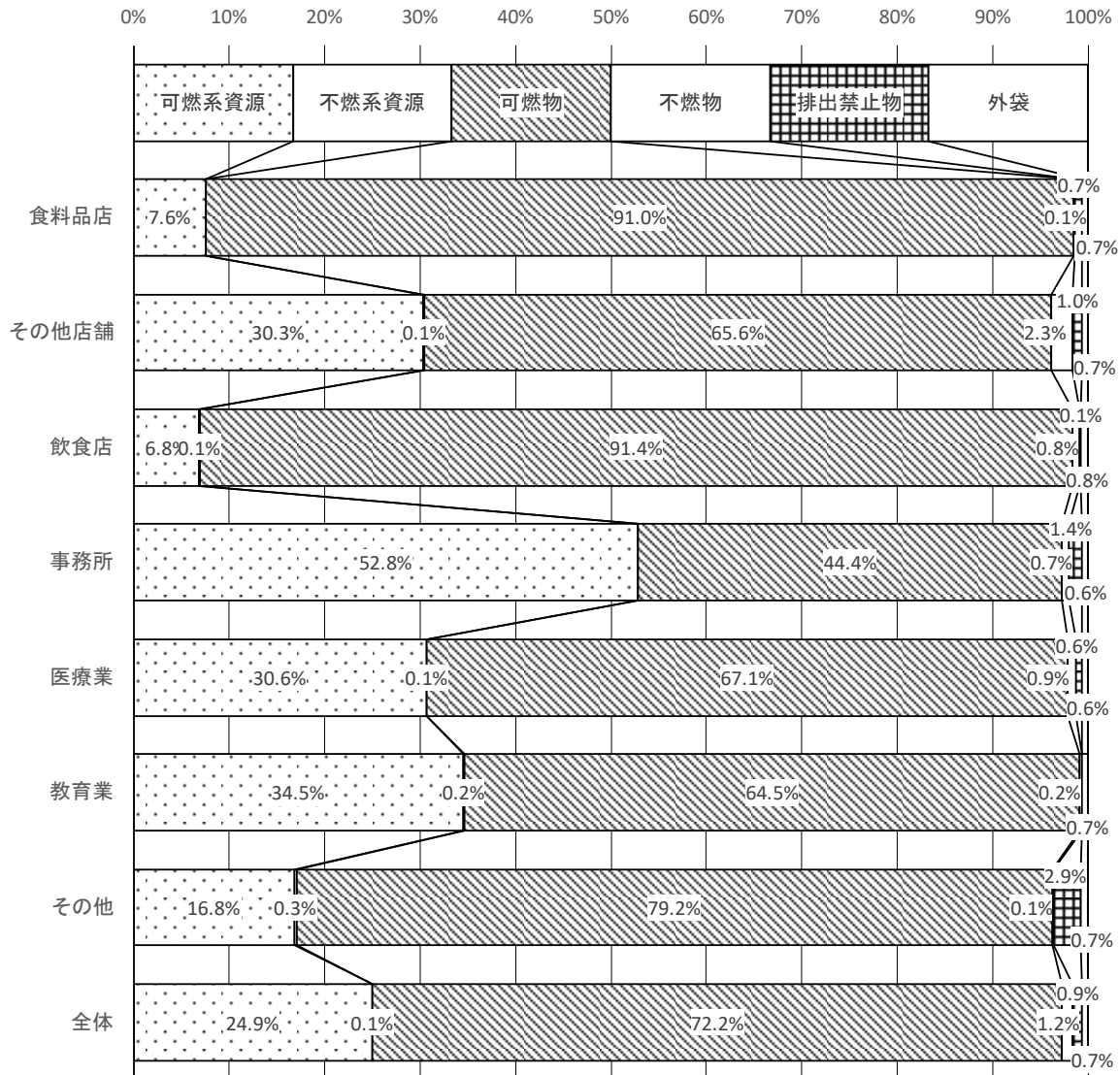


図 2.2-2 可燃ごみの業種別の組成分析結果

表 2.2-3 可燃ごみの業種別の組成分析結果(詳細・重量)

単位:kg

		食料品 店	その他 店舗	飲食店	事務所	医療業	教育業	その他	合計
可燃系 資源	紙類	13.71	211.07	27.73	123.09	96.89	18.45	26.77	517.71
	ペットボトル	0.24	4.75	3.18	0.70	0.37	0.21	0.49	9.94
不燃系 資源	缶類	0.00	0.41	0.11	0.02	0.21	0.11	0.17	1.03
	びん類	0.00	0.53	0.30	0.07	0.00	0.00	0.25	1.15
可燃物	生ごみ	106.88	12.53	248.56	27.87	4.96	1.83	9.18	411.81
	紙類	10.08	39.03	21.20	11.35	29.31	2.07	14.02	127.06
	布類	0.84	14.23	11.02	0.92	2.89	0.24	0.74	30.88
	木・草類	0.05	166.19	0.79	0.72	0.50	5.27	38.31	211.83
	容器包装プラスチック	13.76	62.73	47.60	20.89	30.29	3.91	17.61	196.79
	製品プラスチック	16.23	47.02	25.19	20.28	17.51	2.10	4.87	133.20
	ゴム・皮革類	0.30	9.34	0.77	1.28	29.23	0.00	0.49	41.41
	その他可燃物	19.87	116.18	57.82	20.88	98.43	19.48	43.42	376.08
不燃物	金属	0.21	11.62	1.94	0.80	0.07	0.04	0.15	14.83
	乾電池	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.05
	ガラス製品	0.00	0.00	0.00	0.64	0.12	0.00	0.00	0.76
	陶磁器	0.00	2.79	0.08	0.00	0.05	0.00	0.00	2.92
	小型家電	0.00	0.51	1.65	0.12	0.06	0.05	0.00	2.39
	傘	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	蛍光管	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	電球	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05
その他不燃物	0.01	1.14	0.02	0.03	2.45	0.00	0.02	3.67	
排出禁止物		1.24	7.05	0.30	3.36	2.05	0.00	4.74	18.74
外袋		1.25	4.73	3.44	1.42	2.06	0.37	1.17	14.44
可燃系資源		13.95	215.82	30.91	123.79	97.26	18.66	27.26	527.65
不燃系資源		0.00	0.94	0.41	0.09	0.21	0.11	0.42	2.18
可燃物		168.01	467.25	412.95	104.19	213.12	34.90	128.64	1,529.06
不燃物		0.22	16.09	3.74	1.59	2.75	0.11	0.17	24.67
排出禁止物		1.24	7.05	0.30	3.36	2.05	0.00	4.74	18.74
外袋		1.25	4.73	3.44	1.42	2.06	0.37	1.17	14.44
合計		184.67	711.88	451.75	234.44	317.45	54.15	162.40	2,116.74

表 2.2-4 可燃ごみの業種別の組成分析結果(詳細・割合)

		食料品 店	その他 店舗	飲食店	事務所	医療業	教育業	その他	合計
可燃系 資源	紙類	7.4%	29.6%	6.1%	52.5%	30.5%	34.1%	16.5%	24.5%
	ペットボトル	0.1%	0.7%	0.7%	0.3%	0.1%	0.4%	0.3%	0.5%
不燃系 資源	缶類	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%
	びん類	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%
可燃物	生ごみ	57.9%	1.8%	55.0%	11.9%	1.6%	3.4%	5.7%	19.5%
	紙類	5.5%	5.5%	4.7%	4.8%	9.2%	3.8%	8.6%	6.0%
	布類	0.5%	2.0%	2.4%	0.4%	0.9%	0.4%	0.5%	1.5%
	木・草類	0.0%	23.3%	0.2%	0.3%	0.2%	9.7%	23.6%	10.0%
	容器包装プラスチック	7.5%	8.8%	10.5%	8.9%	9.5%	7.2%	10.8%	9.3%
	製品プラスチック	8.8%	6.6%	5.6%	8.7%	5.5%	3.9%	3.0%	6.3%
	ゴム・皮革類	0.2%	1.3%	0.2%	0.5%	9.2%	0.0%	0.3%	2.0%
	その他可燃物	10.8%	16.3%	12.8%	8.9%	31.0%	36.0%	26.7%	17.8%
不燃物	金属	0.1%	1.6%	0.4%	0.3%	0.0%	0.1%	0.1%	0.7%
	乾電池	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	ガラス製品	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	陶磁器	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
	小型家電	0.0%	0.1%	0.4%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
	傘	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	蛍光管	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	電球	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他不燃物	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.2%	
排出禁止物		0.7%	1.0%	0.1%	1.4%	0.6%	0.0%	2.9%	0.9%
外袋		0.7%	0.7%	0.8%	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%
可燃系資源		7.6%	30.3%	6.8%	52.8%	30.6%	34.5%	16.8%	24.9%
不燃系資源		0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	0.2%	0.3%	0.1%
可燃物		91.0%	65.6%	91.4%	44.4%	67.1%	64.5%	79.2%	72.2%
不燃物		0.1%	2.3%	0.8%	0.7%	0.9%	0.2%	0.1%	1.2%
排出禁止物		0.7%	1.0%	0.1%	1.4%	0.6%	0.0%	2.9%	0.9%
外袋		0.7%	0.7%	0.8%	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%

第3部 家庭ごみ・事業系ごみの品目別区収集ごみ量推計

1 排出原単位の推計

平成 27 年度の国勢調査の結果を用い、属性別の人口割合を算定する。この人口割合で月変動係数により補正した世帯人数別の排出原単位を加重平均して、排出原単位を推計する。

(1)属性別人口推計

平成 27 年度の国勢調査による、世田谷区の世帯人数別の世帯数と人口を表 1.1-1 に示す。

表 1.1-1 世帯人数別の世帯数と人口

	世帯数（世帯）	人口（人）
1人	231,289	231,289
2人	106,324	212,648
3人	68,044	204,132
4人	47,190	188,760
5人	8,936	44,680
6人	1,277	7,662
7人以上	291	2,120
合計	463,351	891,291

同じく国勢調査による、単身世帯の年齢別人口を表 1.1-2 に示す。

表 1.1-2 単身世帯の年齢別人口

	人口（人）	割合
30歳未満	42,223	23.0%
30歳以上	141,694	77.0%
合計	183,917	100.0%

※合計が表1.1-1の「1人」の世帯数と合致しないのは、「年齢不詳」の人口が含まれていないため。

表 1.1-1 の 4 人以上を足し上げ、1 人世帯を表 1.1-2 の割合で按分した、属性別の人口と割合を表 1.1-3 に示す。

表 1.1-3 属性別の人口と割合

	人口 (人)	割合
1 人(30歳未満)	53,098	6.0%
1 人(30歳以上)	178,191	20.0%
2 人	212,648	23.9%
3 人	204,132	22.9%
4 人以上	243,222	27.2%
合計	891,291	100.0%

(2)排出原単位の推計

属性別の可燃ごみの排出原単位は、1 人世帯・30 歳未満が 373.9 g/人日、1 人世帯・30 歳以上が 459.4 g/人日、2 人世帯が 362.1 g/人日、3 人世帯が 307.3 g/人日、4 人以上世帯が 262.7 g/人日である。

属性別の不燃ごみの排出原単位は、1 人世帯・30 歳未満が 25.1 g/人日、1 人世帯・30 歳以上が 42.7 g/人日、2 人世帯が 31.3 g/人日、3 人世帯が 24.6 g/人日、4 人以上世帯が 17.8 g/人日である。

属性別の排出原単位を人口割合で加重平均して推計した、可燃ごみと不燃ごみの排出原単位を表 1.1-4 に示す。家庭ごみの排出原単位は、可燃ごみが 342.7 g/人日、不燃ごみが 28.0 g/人日である。

表 1.1-4 排出原単位の推計

	排出原単位 (g/人日)		人口割合
	可燃ごみ	不燃ごみ	
1 人世帯・30 歳未満	373.9	25.1	6.0%
1 人世帯・30 歳以上	459.4	42.7	20.0%
2 人世帯	362.1	31.3	23.9%
3 人世帯	307.3	24.6	22.9%
4 人以上世帯	262.7	17.8	27.2%
加重平均	342.7	28.0	100.0%

2 家庭ごみ・事業系ごみ別の区収集ごみ量の推計

(1)世田谷区の区収集ごみ量

令和2年度の世田谷区の区収集ごみ量を表1.2-1に示す。

表1.2-1 世田谷区の区収集ごみ量

単位：t/年	
	区収集ごみ量
可燃ごみ	168,932
不燃ごみ	7,419

(2)家庭ごみ量の推計

家庭ごみ量は、表1.1-4の排出原単位に令和2年10月1日現在の人口と年間日数(365日)を乗じて推計する。家庭ごみの可燃ごみ量は115,361t、不燃ごみ量は9,425tと推計される。

表1.2-2 排出原単位から推計した家庭ごみの量

	排出原単位 (g/人日)	人口 (人)	家庭ごみ量 (t/年)
可燃ごみ	342.7	922,257	115,361
不燃ごみ	28.0		9,425

(注)人口は令和2年10月1日現在。

可燃ごみについては、区収集ごみ量から表1.2-2で推計した家庭ごみ量を差し引いて、事業系ごみ量を53,571tと推計した。区収集可燃ごみのうち、約70%が家庭ごみと推計される。

表1.2-3 区収集可燃ごみの家庭ごみ・事業系ごみ量

	区収集ごみ量	家庭ごみ量	事業系ごみ量	家庭ごみ割合	事業系ごみ割合
	A	B	C=A-B	D=B÷A	E=C÷A
可燃ごみ	168,932	115,361	53,571	68.3%	31.7%

不燃ごみについては、推計した家庭ごみ量が区収集ごみより多くなっており、実績値と大きく乖離している。そのため、区収集不燃ごみの家庭ごみ・事業系ごみ量の推計は行わない。

3 家庭ごみ・事業系ごみの品目別区収集ごみ量の推計

(1)家庭可燃ごみ

表 1.3-1 家庭可燃ごみの品目別ごみ量の推計

大分類	中分類	小分類	ごみ量 (t/年)	割合	
可燃系資源	紙類	新聞(きれいなもの)	868	0.8%	
		折込広告	541	0.5%	
		雑誌・本	2,611	2.3%	
		段ボール	1,169	1.0%	
		紙バック	757	0.7%	
		包装紙	166	0.1%	
		紙袋	734	0.6%	
		箱類	3,655	3.2%	
		OA用紙	1,106	1.0%	
		その他紙類(リサイクル可)	3,578	3.1%	
	布類		5,909	5.1%	
	ペットボトル		644	0.6%	
	プラスチック	ペットボトルキャップ		87	0.1%
		白色発泡トレイ		159	0.1%
色・柄付き発泡トレイ			206	0.2%	
食品用透明プラスチック容器			203	0.2%	
不燃系資源	缶類	アルミ缶(飲食用)	40	0.0%	
		スチール缶(飲食用)	48	0.0%	
	びん類	リターナブルびん	0	0.0%	
		ワンウェイびん(無色)	86	0.1%	
		ワンウェイびん(茶色)	1	0.0%	
		ワンウェイびん(その他)	122	0.1%	
小型家電(拠点回収対象)		43	0.0%		
可燃物	生ごみ	直接廃棄	6,863	5.9%	
		食べ残し	3,441	3.0%	
		調理くず	24,314	21.1%	
	紙類	新聞(汚れたもの)	829	0.7%	
		紙バック(アルミ付)	414	0.4%	
		容器包装の紙類(リサイクル不可)	1,348	1.2%	
		シュレッド紙	268	0.2%	
		その他紙類(リサイクル不可)	2,012	1.7%	
	木・草類		5,020	4.4%	
		ペットボトル以外のボトル	1,752	1.5%	
	容器包装プラスチック	洗剤等詰め替え容器	210	0.2%	
		レジ袋	765	0.7%	
		発泡スチロール	126	0.1%	
		カップ・パック	5,514	4.8%	
		フィルム	4,773	4.1%	
		アルミ蒸着	1,377	1.2%	
		チューブ	262	0.2%	
		その他の容器包装プラスチック	394	0.3%	
		シングルユースプラスチック	86	0.1%	
		製品プラスチック(軟質)	2,950	2.6%	
	製品プラスチック	製品プラスチック(硬質)	1,924	1.7%	
		製品プラスチック(複合品)	450	0.4%	
		ゴム・皮革類	519	0.5%	
	その他可燃物	皮革類	467	0.4%	
		紙おむつ	6,023	5.2%	
	その他可燃物		17,675	15.3%	
	不燃物	金属	アルミ缶(その他)	2	0.0%
スチール缶(その他)			7	0.0%	
缶類以外の金属類			281	0.2%	
乾電池		筒型乾電池	20	0.0%	
		コイン型電池	0	0.0%	
ガラス製品			45	0.0%	
陶磁器			26	0.0%	
小型家電(拠点回収対象外)			722	0.6%	
傘			13	0.0%	
蛍光管			0	0.0%	
電球			2	0.0%	
その他不燃物			54	0.0%	

大分類	中分類	小分類	ごみ量 (t/年)	割合
排出禁止物		二次電池	0	0.0%
		その他電池	0	0.0%
		水銀体温計	0	0.0%
		水銀血圧計	0	0.0%
		中身の入ったエアゾール缶	0	0.0%
		中身の入ったカセットボンベ	0	0.0%
		中身の入った簡易ガスライター	0	0.0%
		薬品類(農薬・劇薬)	0	0.0%
		注射器・針	0	0.0%
		石油類	0	0.0%
		ペンキ等の塗料	0	0.0%
		バッテリー	0	0.0%
		石	29	0.0%
		土・砂	180	0.2%
外袋	ブロック・レンガ	0	0.0%	
	その他	0	0.0%	
	プラスチック袋	868	0.8%	
	レジ袋	559	0.5%	
		紙袋	43	0.0%
		合計	115,361	100.0%

大分類	中分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系資源	紙類	15,184	13.2%
	布類	5,909	5.1%
	ペットボトル	644	0.6%
	プラスチック	655	0.6%
不燃系資源	缶類	88	0.1%
	びん類	209	0.2%
	小型家電	43	0.0%
可燃物	生ごみ	34,618	30.0%
	紙類	4,871	4.2%
	木・草類	5,020	4.4%
	容器包装プラスチック	15,173	13.2%
	製品プラスチック	5,409	4.7%
	ゴム・皮革類	987	0.9%
	その他可燃物	23,698	20.5%
	金属	291	0.3%
	乾電池	20	0.0%
	ガラス製品	45	0.0%
不燃物	陶磁器	26	0.0%
	小型家電	722	0.6%
	傘	13	0.0%
	蛍光管	0	0.0%
	電球	2	0.0%
	その他不燃物	54	0.0%
排出禁止物		210	0.2%
外袋		1,470	1.3%

大分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系資源	22,392	19.4%
不燃系資源	340	0.3%
可燃物	89,776	77.8%
不燃物	1,173	1.0%
排出禁止物	210	0.2%
外袋	1,470	1.3%

(2)事業系可燃ごみ

表 1.3-2 事業系可燃ごみの品目別ごみ量の推計

大分類	中分類	小分類	重量 (t/年)	割合
可燃系資源	紙類	新聞(きれいなもの)	104	0.2%
		折込広告	69	0.1%
		雑誌・本	1,502	2.8%
		段ボール	680	1.3%
		紙パック	217	0.4%
		包装紙	236	0.4%
		紙袋	338	0.6%
		箱類	2,173	4.1%
		OA用紙	1,994	3.7%
		シュレツド紙	3,580	6.7%
その他紙類(リサイクル可)	2,209	4.1%		
	ペットボトル	252	0.5%	
不燃系資源	缶類	アルミ缶(飲食用)	18	0.0%
		スチール缶(飲食用)	8	0.0%
	びん類	リターナブルびん	0	0.0%
		ワンウェイびん(無色)	24	0.0%
		ワンウェイびん(茶色)	6	0.0%
ワンウェイびん(その他)	0	0.0%		
可燃物	生ごみ	直接廃棄	667	1.2%
		食べ残し	1,176	2.2%
		調理くず	8,580	16.0%
	紙類	新聞(汚れたもの)	300	0.6%
		紙パック(アルミ付)	181	0.3%
		容器包装の紙類(リサイクル不可)	1,306	2.4%
		その他紙類(リサイクル不可)	1,429	2.7%
	布類	782	1.5%	
	木・草類	5,361	10.0%	
	容器包装プラスチック	ペットボトルキャップ	43	0.1%
		白色発泡トレイ	27	0.1%
		色・柄付き発泡トレイ	13	0.0%
		食品用透明プラスチック容器	33	0.1%
		ペットボトル以外のボトル	864	1.6%
		洗剤等詰め替え容器	112	0.2%
		レジ袋	348	0.7%
		発泡スチロール	128	0.2%
カップ・パック		1,320	2.5%	
フィルム		1,422	2.7%	
アルミ蒸着		301	0.6%	
チューブ		51	0.1%	
その他の容器包装プラスチック		319	0.6%	
製品プラスチック	シングルユースプラスチック	75	0.1%	
	製品プラスチック(軟質)	2,371	4.4%	
	製品プラスチック(硬質)	734	1.4%	
	製品プラスチック(複合品)	190	0.4%	
ゴム・皮革類	ゴム類	1,006	1.9%	
	皮革類	42	0.1%	
その他可燃物	紙おむつ	247	0.5%	
	その他可燃物	9,271	17.3%	
不燃物	金属	アルミ缶(その他)	3	0.0%
		スチール缶(その他)	2	0.0%
		缶類以外の金属類	370	0.7%
	乾電池	筒型乾電池	1	0.0%
		コイン型電池	0	0.0%
	ガラス製品	19	0.0%	
	陶磁器	74	0.1%	
	小型家電(拠点回収対象外)	60	0.1%	
	傘	0	0.0%	
	蛍光管	0	0.0%	
	電球	1	0.0%	
	その他不燃物	93	0.2%	

大分類	中分類	小分類	重量 (t/年)	割合
排出禁止物		二次電池	0	0.0%
		その他電池	0	0.0%
		水銀体温計	0	0.0%
		水銀血圧計	0	0.0%
		中身の入ったエアゾール缶	10	0.0%
		中身の入ったカセットボンベ	0	0.0%
		中身の入った簡易ガスライター	1	0.0%
		薬品類(農薬・劇薬)	0	0.0%
		注射器・針	1	0.0%
		石油類	0	0.0%
		ペンキ等の塗料	0	0.0%
		バッテリー	0	0.0%
		石	5	0.0%
		土・砂	403	0.8%
外袋		ブロック・レンガ	0	0.0%
		その他	55	0.1%
		プラスチック袋	355	0.7%
		レジ袋	0	0.0%
		紙袋	10	0.0%
		合計	53,571	100.0%

大分類	中分類	ごみ量 (t/年)	割合	
可燃系資源	紙類	13,102	24.5%	
	ペットボトル	252	0.5%	
不燃系資源	缶類	26	0.0%	
	びん類	29	0.1%	
可燃物	生ごみ	10,422	19.5%	
	紙類	3,216	6.0%	
	布類	782	1.5%	
	木・草類	5,361	10.0%	
	容器包装プラスチック	4,980	9.3%	
	製品プラスチック	3,371	6.3%	
	ゴム・皮革類	1,048	2.0%	
	その他可燃物	9,518	17.8%	
	不燃物	金属	375	0.7%
		乾電池	1	0.0%
ガラス製品		19	0.0%	
陶磁器		74	0.1%	
小型家電		60	0.1%	
傘		0	0.0%	
蛍光管		0	0.0%	
電球		1	0.0%	
その他不燃物		93	0.2%	
排出禁止物		474	0.9%	
外袋	365	0.7%		

大分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系資源	13,354	24.9%
不燃系資源	55	0.1%
可燃物	38,698	72.2%
不燃物	624	1.2%
排出禁止物	474	0.9%
外袋	365	0.7%

(3)区収集不燃ごみ

※不燃ごみについては、家庭ごみ・事業系ごみの量を推計できなかったため、区収集全体の不燃ごみ量に家庭不燃ごみの組成割合を乗じ、各品目のごみ量を推計した。

表 1.3-3 不燃ごみの品目別ごみ量の推計

大分類	中分類	小分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系資源	紙類	新聞(きれいなもの)	0	0.0%
		折込広告	0	0.0%
		雑誌・本	1	0.0%
		段ボール	8	0.1%
		紙パック	3	0.0%
		包装紙	0	0.0%
		紙袋	2	0.0%
		箱類	10	0.1%
		OA用紙	0	0.0%
		その他紙類(リサイクル可)	2	0.0%
	布類	80	1.1%	
	ペットボトル	20	0.3%	
	プラスチック	ペットボトルキャップ	0	0.0%
		白色発泡トレイ	0	0.0%
色・柄付き発泡トレイ		0	0.0%	
	食品用透明プラスチック容器	0	0.0%	
不燃系資源	缶類	アルミ缶(飲食用)	20	0.3%
		スチール缶(飲食用)	61	0.8%
	びん類	リターナブルびん	0	0.0%
		ワンウェイびん(無色)	183	2.5%
		ワンウェイびん(茶色)	48	0.6%
		ワンウェイびん(その他)	49	0.7%
小型家電(拠点回収対象)	191	2.6%		
可燃物	生ごみ	直接廃棄	29	0.4%
		食べ残し	48	0.7%
		調理くず	4	0.1%
	紙類	新聞(汚れたもの)	11	0.2%
		紙パック(アルミ付)	0	0.0%
		容器包装の紙類(リサイクル不可)	1	0.0%
		シュレッド紙	0	0.0%
		その他紙類(リサイクル不可)	13	0.2%
	木・草類	1	0.0%	
	容器包装プラスチック	ペットボトル以外のボトル	69	0.9%
		洗剤等詰め替え容器	0	0.0%
		レジ袋	10	0.1%
		発泡スチロール	0	0.0%
		カップ・パック	2	0.0%
		フィルム	4	0.0%
		アルミ蒸着	4	0.1%
		チューブ	3	0.0%
		その他の容器包装プラスチック	11	0.2%
	製品プラスチック	シングルユースプラスチック	0	0.0%
		製品プラスチック(軟質)	18	0.2%
製品プラスチック(硬質)		183	2.5%	
製品プラスチック(複合品)		367	4.9%	
ゴム・皮革類	ゴム類	22	0.3%	
	皮革類	22	0.3%	
その他可燃物	紙おむつ	0	0.0%	
	その他可燃物	41	0.6%	
不燃物	金属	アルミ缶(その他)	55	0.7%
		スチール缶(その他)	270	3.6%
		缶類以外の金属類	1,519	20.5%
	乾電池	筒型乾電池	200	2.7%
		コイン型電池	1	0.0%
	ガラス製品	668	9.0%	
	陶磁器	990	13.3%	
	小型家電(拠点回収対象外)	1,293	17.4%	
	傘	308	4.1%	
	蛍光管	39	0.5%	
	電球	21	0.3%	
		その他不燃物	303	4.1%

大分類	中分類	小分類	ごみ量 (t/年)	割合
排出禁止物		二次電池	0	0.0%
		その他電池	0	0.0%
		水銀体温計	0	0.0%
		水銀血圧計	0	0.0%
		中身の入ったエアゾール缶	72	1.0%
		中身の入ったカセットボンベ	0	0.0%
		中身の入った簡易ガスライター	8	0.1%
		薬品類(農薬・劇薬)	0	0.0%
		注射器・針	0	0.0%
		石油類	0	0.0%
		ペンキ等の塗料	30	0.4%
		バッテリー	0	0.0%
		石	0	0.0%
		土・砂	0	0.0%
		ブロック・レンガ	0	0.0%
		その他	36	0.5%
		外袋		プラスチック袋
レジ袋	32			0.4%
紙袋	8			0.1%
	合計	7,419	100.0%	

大分類	中分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系資源	紙類	28	0.4%
	布類	80	1.1%
	ペットボトル	20	0.3%
	プラスチック	0	0.0%
不燃系資源	缶類	82	1.1%
	びん類	281	3.8%
	小型家電	191	2.6%
可燃物	生ごみ	82	1.1%
	紙類	25	0.3%
	木・草類	1	0.0%
	容器包装プラスチック	102	1.4%
	製品プラスチック	569	7.7%
	ゴム・皮革類	44	0.6%
	その他可燃物	41	0.6%
不燃物	金属	1,845	24.9%
	乾電池	201	2.7%
	ガラス製品	668	9.0%
	陶磁器	990	13.3%
	小型家電	1,293	17.4%
	傘	308	4.1%
	蛍光管	39	0.5%
	電球	21	0.3%
その他不燃物	303	4.1%	
排出禁止物	147	2.0%	
外袋	59	0.8%	

大分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系資源	128	1.7%
不燃系資源	553	7.5%
可燃物	864	11.6%
不燃物	5,668	76.4%
排出禁止物	147	2.0%
外袋	59	0.8%

(4)家庭ごみ・事業系ごみ別の品目別区収集ごみ量

家庭ごみ・事業系ごみ別の品目別区収集ごみ量を表 1.3-5 に示す。

区収集ごみには、可燃系資源が 35,873t、不燃系資源が 949t、排出禁止物が 830t 含まれていると推計される。

表 1.3-5 家庭ごみ・事業系ごみ別の品目別区収集ごみ量の推計

単位：t/年

		可燃ごみ			不燃ごみ	合計
		家庭	事業系	合計		
可燃系資源	紙類	15,184	13,102	28,287	28	28,314
	布類	5,909		5,909	80	5,988
	ペットボトル	644	252	895	20	915
	プラスチック	655		655	0	655
不燃系資源	缶類	88	26	114	82	196
	びん類	209	29	238	281	518
	小型家電	43		43	191	234
可燃物	生ごみ	34,618	10,422	45,041	82	45,122
	紙類	4,871	3,216	8,086	25	8,111
	布類		782	782		782
	木・草類	5,020	5,361	10,382	1	10,382
	容器包装プラスチック	15,173	4,980	20,154	102	20,256
	製品プラスチック	5,409	3,371	8,780	569	9,349
	ゴム・皮革類	987	1,048	2,035	44	2,079
	その他可燃物	23,698	9,518	33,216	41	33,257
不燃物	金属	291	375	666	1,845	2,511
	乾電池	20	1	22	201	222
	ガラス製品	45	19	64	668	732
	陶磁器	26	74	100	990	1,090
	小型家電	722	60	782	1,293	2,076
	傘	13	0	13	308	320
	蛍光管	0	0	0	39	39
	電球	2	1	4	21	25
	その他不燃物	54	93	147	303	450
排出禁止物	210	474	684	147	830	
外袋	1,470	365	1,835	59	1,894	
可燃系資源	22,392	13,354	35,745	128	35,873	
不燃系資源	340	55	396	553	949	
可燃物	89,776	38,698	128,474	864	129,338	
不燃物	1,173	624	1,798	5,668	7,466	
排出禁止物	210	474	684	147	830	
外袋	1,470	365	1,835	59	1,894	
合計	115,361	53,571	168,932	7,419	176,351	

世田谷区家庭ごみ・事業系ごみ組成分析調査及び計量調査報告書
(令和3年度版)

令和3年8月発行（広報印刷物登録番号：No.1971）

世田谷区清掃・リサイクル部事業課

〒156-0043 世田谷区松原 6-3-5 梅丘分庁舎 2階

電話：03-6304-3297

FAX：03-6304-3341

世田谷区ホームページ

<https://www.city.setagaya.lg.jp>

ごみ・リサイクルの情報は

[目次から探す](#) → [くらし・手続き](#) → [ごみ・リサイクル](#)

調査委託先

株式会社杉山・栗原環境事務所

〒107-0062 東京都港区南青山 2-2-15-942

電話：03-6704-5039

※ 再生紙を使用しています。